

ーからやり直し！

英語文法の基礎

グローバルボイス

<https://en-globalvoice.com/>

目次

1.	be 動詞	P3 - 12
2.	一般動詞	P13 - 20
3.	疑問詞	P21-27
4.	進行形	P28-33
5.	未来形	P35-40
6.	代名詞	P41-47
7.	形容詞・副詞	P48-53
8.	助動詞	P54-60
9.	命令文	P61-65
10.	感嘆文	P66-67
11.	接続詞	P68-74
12.	前置詞	P75-80
13.	比較	P76-88
14.	不定詞	P89-95
15.	動名詞	P96-101
16.	It~for to の文	P102-103
17.	現在完了	P104-109
18.	受動態	P110-115
19.	関係代名詞	P116-123
20.	分詞	P124-128
21.	間接疑問文	P129-133
22.	付加疑問文	P134-139
23.	英語で自己紹介	P140-143
24.	重要連語	P144-152

1 be 動詞を覚えよう

be 動詞の変化と使い方

英語の文章の語順は①主語②動詞③他の語ということをしっかり覚えましょう。そして、この②の位置に来る動詞が、**2種類**あることも覚えておきましょう。

ここで学ぶ動詞は、その一つである **be 動詞**(ビー動詞)というものです。

まず be 動詞の仲間(変化したもの・**変化形**)を覚えましょう。

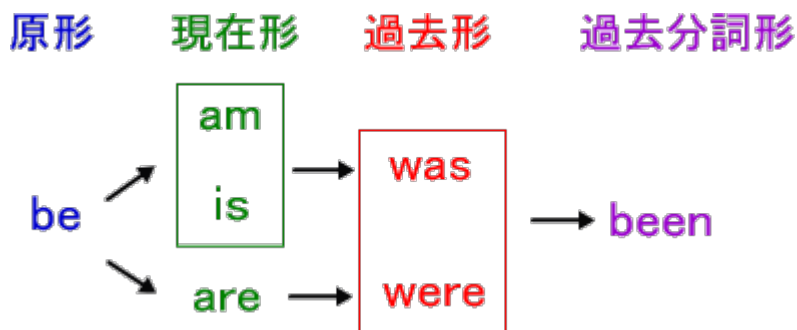
それは以下のものです。

be(ビー) is(イズ) am(アム) are(アー)

was(ワズ) were(ワー) been(ビーン) being(ビーイング)

全部で**8個**ですが、普通、中学で習うのはその内の7個で、下図のように使い分けま

す。



特に大事なものは is, am, are の使い分けです。

be と been は、別の文法項目で扱っていますので、ここでは勉強しません。

また being は高校英語の範囲なので、このサイトでは扱いません。

主語が**一人**や**一つの単数**を表している場合は、基本的に is を使いますが、**I, you** は**例外**と覚えましょう。

簡単暗記ポイント

★文章が現在で、主語が I、you 以外の単数の時、be 動詞は is を使う。

それではまず、日本語と英語の語順を例文を使って考えてみましょう。

①吉田さんは③英語の教師②です。

①Mr Yoshida ②is ③an English teacher.

「吉田さん」を「私」に変えると下のようになります。

①私は③英語の教師②です。

①I ②am ③an English teacher.

「私」を「私たち」に変えると、主語は2人以上になりますから次のように変わります。

We are English teachers.

be 動詞は①主語と③他の語が同じ「＝」であるということを表す場合に使う言葉だと覚えましょう。

①I = ③an English teacher

上の例文をそれぞれ過去形にすると次のようになります。

Mr. Yoshida was an English teacher.

I was an English teacher.

We were English teachers.

is am are は「です」や「ます」という意味だと教えている学校の先生がいたり、そういう説明をしているサイトもあるようですが、そういう覚え方はあとで間違いをおこす原因になると考えています。

※上の例では、②の「です」が、be 動詞に該当するような形になっていますが、これはあくまでも、英語の順番を覚えていただくためのことだと考えてください。

ですから、be 動詞は「イコール動詞」と覚えてもいいかもしれません。

彼はトムだ。「だ」は、ここでは「です」「ます」と同じ「＝」をあらわしています。

彼 = トム

となるので、この英文は次のようになります。

He is Tom.

これを次の文と比べてみましょう。

①私は③ヒロキが②好きです。

この場合、もちろん「私はヒロキではない」わけです。

つまり 私 ≠ ヒロキ ですから、be 動詞は使わないと考えます。(あくまでも基本です)

したがって次のようになります。

I like Hiroki.

動詞の部分に使う言葉は like(love)で、もちろんこれは一般動詞です。

ここで、is am are を「～です」と覚えていた人は、次のようにしてしまうおそれがあるのです。

× I am like Hiroki.

be 動詞と一般動詞を同時に使う場合もあるのですが、それは進行形や受動態などの場合であって、その時には、**一般動詞を原形のまま使うことはできない**のです。

このことをまったく理解していない生徒がたくさんいますので、しっかりそれらのページで確認してください。

be 動詞の否定文

be 動詞(**イコール動詞**)を使う文章の否定文(～ではない)は、イコール動詞の次に not を置けば出来上がりです。

ボクは今いそがしくはない。

I am not busy.

この日本語では be 動詞にあたる言葉がないように思えますが、**一つの文章を書く場合には、英語では必ず動詞となる言葉が必要です。**

動詞にあたる言葉がないと思った時にこそ、be 動詞を思い出しましょう。

上のそれぞれの例文でも、not を付ければ完成です。

Mr. Yoshida is not an English teacher.

They were not English teachers.

He is not Tom.

be 動詞と not をくっつけた**短縮形**(たんしゅくけい)というのもあります。

is not = isn't are not = aren't was not = wasn't
were not = weren't

しかし、am not の短縮形のような amn't なんていうのはありませんよ。時々このように書く人がいるので気を付けてくださいね。

be 動詞の疑問文

be 動詞(**イコール動詞**)を使う文章の疑問文は、イコール動詞を主語のすぐ前に置いて、文の最後に**?**をつければ完成です。

あなたはミュージシャンですね。

You are a musician.

↓

あなたはミュージシャンですか。

Are you a musician?

この疑問文の答え方は次のようになります。

はい、そうです。 Yes, I am.

いいえ、ちがいます。 No, I am not. または No, I'm not.

you で聞かれたら I で答えることは分りますね。

There is (are) の文

There is (are) ～ ～がある、いる

この文章では主語が～の部分以降にあることに注意しましょう。

There is a cat under the table.

テーブルの下に猫がいます。

この文の主語は「猫」です。 a cat となっているので、主語が単数になりますから be 動詞は is になります。

猫が2匹以上、複数いたらもちろん次のようになります。

There **are** two cats under the table.

過去形の場合は、それぞれ is → was are → were にしましょう。

疑問文では、それぞれの be 動詞を there の前にもってきます。

Are there any balls in the box?

箱の中にはボールが入っていますか。

Yes, there are. No, there aren't.

はい、入っています。 いいえ、入っていません。

★ 次の場合を比べてみましょう。

私の家は鹿児島にあります。

○ My house is in Kagoshima.

× There is my house in Kagoshima.

「私の家」というのは、具体的にどの“家”を指しているかがわかるので、この場合、下

の文のように **There is** ～を使って言うことはできないのです。

つまり「その森の近くに一軒の家があります。」のようになれば、**There is (are)** が使えるということです。

There is a house near the forest.

この場合の「家」は誰の家なのか、などと具体的に述べているのではなく、単に「家が1つ建っている」というような感じになっているわけです。

be 動詞の確認テスト

●次の()に入る適切な be 動詞を書きなさい。

問題1. 私はとても幸せでした。

I () very happy.

問題2. ナンシーは今18歳ですか。

() Nancy 18 years old now?

問題3. 彼らは昨日いそがしかったのです。

They () busy yesterday

問題4. 私たちは日本人ではありません。

We () Japanese.

問題5. ケンタとボクは中学生です。

Kenta and I () junior high school students.

問題6. 壁には何枚かの絵があります。

There () some pictures on the wall.

問題7. ヒロシは今自分の部屋にはいません。

Hiroshi () in his room now.

問題8. そこには何がありましたか。

What () there?

問題 9. これらの本はとても古い。

These books () very old.

問題10. 私は野球選手ではありません。

I () a baseball player.

解答と解説

第1問

私はとても幸せでした。

I () very happy.

答え I (**was**) very happy.

主語が I で、過去形の文章ですから、am の過去形である was としなければいけませんね。

第2問

ナンシーは今18歳ですか。

() Nancy 18 years old now?

答え (**Is**) Nancy 18 years old now?

主語が Nancy なので、I, you 以外の一人で現在形ですから Is としなければなりません。

第3問

彼らは昨日いそがしかったのです。

They () busy yesterday.

答え They (**were**) busy yesterday.

主語が They で、複数形であり、文章が過去形ですから were としなければなりません。

第4問

私たちは日本人ではありません。

We () Japanese.

答え We (are not) Japanese.

主語が We で複数形で、文章が現在の否定文ですから、are not または aren't としなければなりません。

第5問

ケンタとボクは中学生です。

Kenta and I () junior high school students.

答え Kenta and I (are) junior high school students.

主語は Kenta and I の二人ですから複数で are となります。I の次にくる be 動詞を考えると、すぐに am と書きたくなりますので、絶対にひっかからないように注意しましょう。

第6問

壁には何枚かの絵があります。

There () some pictures on the wall.

答え There (are) some pictures on the wall.

主語は There are の後ろに来る some pictures です。したがって複数形で、文章が現在形ですから are としなければなりません。

第7問

ヒロシは今自分の部屋にはいません。

Hiroshi () in his room now.

答え Hiroshi (isn't) in his room now.

主語は Hiroshi 一人ですから単数です。文章は現在の否定文ですから is not または isn't としなければなりません。

第8問

そこには何がありましたか。

What () there?

答え What (**was**) there?

主語は What です。個数は分かりませんが、このような場合は単数と考えておいてください。文章は過去形ですから、was と書くこととなります。

第9問

これらの本はとても古い。

These books () very old.

答え These books (**are**) very old.

主語は These books で文章が現在形の複数形になるので are としなければなりません。

第10問

私は野球選手ではありません。

I () a baseball player.

答え I (**am not**) a baseball player.

文章が現在の否定文ですから am not にします。amn't という短縮形はありませんので気を付けましょう。

2 一般動詞

一般動詞とは

英語では、主語の次に来る動詞が2種類あります。その一つが be 動詞(イコール動詞)で、もう一つが**一般動詞**です。

走る run 食べる eat 見る look 泳ぐ swim 手伝う help 笑う smile 勉強する study 読む read 欲しい want ..など

be 動詞は、その変化形を入れて8個しかありませんが、一般動詞には上記のもの以外にもたくさんあります。

たくさんあるので、1つずつ覚えようとする大変です。**英語の文章を繰り返し音読**していくと、次第に身に付いていくはずですよ。

一般動詞も、もちろん動詞ですから、**be 動詞**と同じように**主語の次**に来ます。

日本語の語順

①僕は ④毎日 ③本を ②読みます。

○の数字は日本語を英語にする場合の順番です。

英語の語順

①I ②read ③a book ④every day.

「僕は」を「ヒロシは」に変えると次のようになります。

Hiroshi reads a book every day.

read に s が付きました。

be 動詞が主語によって is や am や are に変化するように、一般動詞の場合にも、主語によって変化することです。

基本的には、**主語が1人、1つの時には s を付けますが、I、you は1人でも付けない**と覚えましょう。

主語が3単現(さんたんげん)の場合は動詞に s が付く？何だ～それって？とわけが分からなくなっている方も多いと思います。

それは、要するに、こういうことです。



かんたん暗記ポイント

文章の表す内容が現在のことで、主語が I、you 以外の単数の時、一般動詞には s を付ける。

僕のお父さんと僕は 週に 3 回公園を 歩きます。

My father and I walk in the park three times a week.

この文の主語は、僕のお父さんと僕の2人(複数)ですから、一般動詞 walk に s は付きません。

また、一般動詞に s を付ける場合にも決まりがあります。

ケンジは毎週日曜日図書館で勉強します(study)。

Kenji studies in the library every Sunday.

単語の最後のアルファベットが o,s,ch,sh,x の場合は es を付けます。

go→goes pass→passes watch→watches

wash→washes box→boxes

語尾が a,i,u,e,o 以外の文字+y の場合は y を i に変えて es を付けます。

上のようになると、最初は難しいので、単語一つ一つを何度も書いて覚えていくようにすることをお勧めします。

try→tries fly→flies carry→carries

play→plays pay→pays enjoy→enjoys

一般動詞の過去形

次は一般動詞(do 動詞)の過去形の文を考えてみましょう。

基本的には、一般動詞(do 動詞)の過去形は、その単語の後ろに ed を付けます。

私はきのう警察に電話しました。

I call**ed** the police yesterday.

be 動詞とは違い、主語が何であっても同じことをします。

しかし、実は一般動詞の過去形の作り方にも、下記のようにいくつかの例外がありません。(この場合でも、主語によってやり方が変わることはありません。)

語尾が e の時は、d だけを付けます。

like→lik**ed** live→liv**ed**

語尾が a,i,u,e,o 以外の文字+y の場合は y を i に変えて ed を付けます。

cry→cri**ed** study→stud**ied** ※play→play**ed**

次のようになる場合もあります。

stop→stop**ped** cap→cap**ped**

その他にも、少し別の形に変るものがあります。

go→went know→knew have→had buy→bought
…など。

このように一般動詞はいろいろな形に変化しますが、毎日少しずつでも勉強すれば、必ずこれくらいのは簡単に身に付いてきます。

このような法則を一生懸命覚える必要はありません。

たくさん書いたり読んだりして、自然に身に付けることが大切なのです。

そのためにも、できるだけ毎日英語に少しでも触れるようにしてみてくださいね。

一般動詞の疑問文

一般動詞を使う文章の疑問文(～ですか)は、その一般動詞のすぐ前に do を書きます。

私はフランス語を話します。

I speak French.

「私は」を「あなたは」に変えて疑問文にすると次のようになります。

あなたはフランス語を話しますか。

Do you speak French?

はい、話します。 いいえ、話しません。

Yes, I do. No, I do not (don't).

be 動詞の疑問文では、主語と be 動詞を入れ替えるだけでしたが、一般動詞の場合は、このように do という言葉を主語の前に付けるのです。

したがって一般動詞は **do 動詞**と言ってもよいでしょう。

タケシはこの車を運転します。

Takeshi drive**s** this car.

これを疑問文にすると次のようになります。

Does Takeshi drive this car?

はい、します。 いいえ、しません。

Yes, he does. No, he does not (doesn't).

最初の説明と違うところがありますね。

do 動詞の疑問文は do のはずですが、does という単語になっています。

そこで、文中にある drive**s** となっているところに注意してください。

要するに、do 動詞に **s** を付ける必要のある場合は、それが疑問文になると do に **s** を付けて **does** になるのです。

o で終わる単語の場合は **es** を付けるのでしたよね。ですから、do に **s** を付けたら drive**s** の **s** はなくなるのです。

ケンタは先週川で泳ぎましたか。

Did Kenta swim in the river?

do 動詞だけを使う過去疑問文は主語が何であっても、全て did を使います。この場合、do 動詞である swim は原形になるので、s や ed などには付きません。

一般動詞の否定文

一般動詞(do 動詞)を使う文章の否定文(～ではない)は、その一般動詞のすぐ前に do not=don't does not=doesn't did not=didn't を付けます。

私たちはあの町には住んでいません。

We do not live in that town.

次の文は主語が1人ですから・・・

ナンシーはお母さんのお手伝いをしません。

Nancy doesn't help her mother.

don't に s が付いた doesn't ですね。もちろん does not でもかまいませんよ。

そのバスは8時には到着しませんでした。

The bus didn't arrive at eight.

過去形の否定文ですから didn't にします。もちろん did not でもかまいません。主語が何であってもこれしかありません。

※洋画を見ていると、たまに He don't・・・という言い方を 聞くことがあります。文法的には正しくありませんが、一般的な家庭でそのように言う人もいます。私自身がイギリスでホームステイをしていた家庭でも、そこのおじさんがこのような言い方をしていました。しかし、それを聞いていたおばさんが注意をしていました。「バカね～」みたいな感じでした。

学校のテストや英検などでは、絶対に減点対象になるので必ずこの基本を守ってください。

一般動詞の確認テスト

●次の()に入る適切な語を選びなさい。

問題 1. 健治はとても上手にギターを弾きます。

Kenji () the guitar very well.

play, plays, play, is play

問題 2. あなたは毎日車を洗うのですか。

() you wash your car every day?

Are, Do, Did, Does

問題 3. 僕は昨日英語の勉強をしなかった。

I () English yesterday.

wasn't study, didn't study, don't studied, didn't studied

問題 4. 彼女はオーストラリアの出身です。

She () from Australia.

come, does, goes, is

問題 5. ナンシーはたくさんの花を持ってきました。

Nancy () a lot of flowers.

bringed, brought, broughtsdid, bring

解答と解説

第1問

健治はとても上手にギターを弾きます。

Kenji () the guitar very well.

答え Kenji (**plays**) the guitar very well.

主語は Kenji で単数形です。文章は現在形で「弾く」という動詞を考えますので plays となります。

is play という形になることはありません。

第2問

あなたは毎日車を洗うのですか。

() you wash your car every day?

答え (**Do**) you wash your car every day?

「洗う」という言葉は wash という一般動詞です。主語が you で現在形の疑問文ですから、文の最初には Do をつけます。

一般動詞がある文で be 動詞を使うには、進行形や受動態のような場合でなければ使わないと覚えておきましょう。

第3問

僕は昨日英語の勉強をしなかった。

I () English yesterday.

答え I (**didn't study**) English yesterday.

「勉強する」は一般動詞の study です。文章が過去の否定文になる場合一般動詞を過去形にせず、その前に didn't または did not を書きます。

be 動詞をつけて wasn't study としてしまう人はまだまだ基本の形が分かっていない証拠ですので、さらに復習をしてください。

第4問

彼女はオーストラリアの出身です。

She () from Australia.

答え She (is) from Australia.

決まった言い方としては be 動詞＋from ～ または come from～ で「～の出身だ」というようになります。

ここでは主語が She なので comes があれば正解とすることができます。

第5問

ナンシーはたくさんの花を持ってきました。

Nancy () a lot of flowers.

答え Nancy (brought) a lot of flowers.

一般動詞の「持ってくる」という bring の過去形を選ばなければなりません。bring は不規則動詞なので ed をつけることはできません。

また過去形の一般動詞に s を付けることもありませんので、注意しましょう。

3 疑問詞

疑問文に使われる特別な語句

疑問詞とは次のような7つの単語のことを言います。

what (ワット「何」) which (ウィッチ「どれ」)

who (フー「だれ」) whose (フーズ「だれの」)

where (ウェア「どこで」) why (フワイ「なぜ」)

when (ウエン「いつ」) how (ハウ「どのように」)

英語の疑問文で疑問詞が使われる場合は、基本的には疑問詞がその英文の一番前にきます。

あなたのご両親はどこに住んでいますか。

Where do your parents live?

彼らはそこで何をしていますか。

What are they doing there?

疑問詞の日本語の訳は、上記のように少しずつ変わることがあるので注意しておきましょう。

★疑問詞を使ったから疑問文が出来上がるわけではありませんよ。

あなたはいつロンドンに行ったのですか。

× When you went to London?

○ When did you go to London?

この例文のように When の後が通常の疑問文の形になっていなければならないということです。

このような間違いをする人が多いので気をつけましょう。

疑問詞が主語の場合の疑問文

疑問詞が主語の場合と、そうでない場合の答え方に注意しましょう。

主語でない場合

あの背の高い男はだれですか。

Who is that tall man?

私の理科の先生です。

He is my science teacher.

主語は **that tall man** の部分です。

主語の場合

だれがあなたの理科の先生ですか。

Who is your science teacher?

あの背の高い先生です。

That tall man is (our science teacher).

どちらが馬ですか、これですかそれともあれですか。

Which is a horse, this or that?

あれです。

That is (a horse).

疑問詞の応用

疑問詞に、別の単語をつけると、それぞれ次のような意味を表します。

例えば **what** は、いつも「何」という日本語になると考えてはいけません。

What time ～？（何時～？）

あなたは毎晩何時に寝ますか。

What time do you go to bed every night?

What about ～？（～はどうですか？）

この絵どうですか。

What about this picture?

How も、また同様に次のような、色々な単語が付いて使われます。

How many ～？（いくつ～ですか？）

How many の後ろにくる単語は必ず数えられる名詞でなければなりません。

彼は何台車を持っていますか。

How many cars does he have?

How much ～？（～はいくらですか？）

このダイヤモンドはいくらですか。

How much is this diamond?

How old ～？（～は何歳ですか？）

彼女のお母さんは何歳ですか。

How old is her mother?

How tall ～？（～の背の高さはどのくらいですか？）

あなたのお兄さんの身長はどれくらいですか

How tall is your brother?

How long ～？（どのくらい長く～ですか？）

彼らはロンドンにどのくらい住んでいましたか。

How long did they live in London?

How often ～？（何回～ですか？）

あなたは毎週その店に何回行きますか。

How often do you go to the shop?

How about ～？（～はどうですか？）

サンドウィッチはどうですか。

How about sandwich?

What about と同じように使うことができます。

How do you like ～？（～はいかがですか？）

日本の寿司はどうですか。

How do you like Japanese *sushi*?

★上記の例文を何度も音読して、その意味とともに、しっかりと覚えるようにしてください。

疑問詞の確認テスト

●次の()に入る最も適切な語句を選んで下さい。

問題 1. あなたのお父さんはどこで働いていますか。

() your father work?

Does where, Where does, Does what, What does

問題 2. あのコンピュータは誰のですか。私の姉のです。

Whose is that computer? ().

My sister has, My sister has, It's my sister's, It's my sister

問題 3. あなたには何人の兄弟がいますか。

() do you have?

How many bother, How much brothers, What many brothers, How many brothers

問題 4. どうして彼女は英語の勉強をするのですか。

Why does she study English? ().

Because she studies it, Because she does English
Because she likes it, Because she studies it every day

問題 5. 誰がこの写真を写したのですか。私が写しました。

Who took this picture? ().

I was, Yes, I was, I did. Yes, I did.

解答と解説

第1問

あなたのお父さんはどこで働いていますか。

() your father work?

答え (**Where does**) your father work?

疑問文では does は主語の前に書きますが、Where(どこで) は文章の最初におきますので注意しましょう。

第2問

あのコンピュータは誰のですか。私の姉のです。

Whose is that computer?

答え **It's my sister's.**

it は that computer のことを指していますので、It is の短縮形として It's とします。「姉の」というのは sister's とします。

第3問

あなたには何人の兄弟がいますか。

() do you have?

答え (**How many brothers**) do you have?

数えられる名詞の数をきく時は、その名詞を複数形にします。したがって brother に s を付けて How many brothers とします。

How much ～は数ではなく数量を聞く場合に使うので How much water～(どれくらいの水～) や How much sugar～(どれくらいの砂糖～) のように使います。

第4問

どうして彼女は英語の勉強をするのですか。

Why does she study English?

答え **Because she likes it.**

Because she studies it. 彼女はそれを勉強するからです。

Because she does English. 彼女は英語をするからです。

Because she likes it. 彼女はそれ(英語)が好きだからです。

Because she studies it every day. 彼女は毎日それを勉強するからです。

日本語で考えると3番目しか当てはまりません。

第5問

誰がこの写真を写したのですか。私が写しました。

Who took this picture?

答え **I did.**

答え方として Yes, I did. も正解にできそうですが、これは Did you take this picture? と聞かれた場合の答え方です。

一番適しているものとしては I did. が良いでしょう。

疑問文には写した(took)という一般動詞がありますので I was. Yes, I was. は正解とはなりません。

4 英語の進行形

進行形は、日本語で「～している、～していた」となるのが基本ですが、日本語がこのような意味になっていても、英語でも進行形になるとは限りません。したがって日本語と英語の違いに注意しながら学習する必要があります。

進行形とは

英語の基本では、その語順として、主語、動詞の順番になることは英文の書き方でも述べました。

そしてこの動詞に当たる部分には、be 動詞(イコール動詞)と一般動詞(do 動詞)がありました。

進行形(～している)では、この二つの動詞を同時に使います。その語順と使い方は
①主語 ②be 動詞 ③動詞+ing となります。

ボクは今フランス料理を 作っています。

I am cooking French food now.

トムとナンシーは公園で絵を 描いています。

Tom and Nancy are writing pictures in the park.

多くの人の失敗は do 動詞に ing だけを付けて be 動詞を書き忘れることですので、まずはこの事をしっかり頭に叩き込んで下さい。

さて、do 動詞に ing を付ける場合にもいろいろな決まりがあります。普通はそのまま ing を付けます。

play→playing read→reading sing→singing

単語の語尾が e の時は e を取って ing を付けます。

close→closing take→taking have→having

語尾が a, i, u, e, o + a, i, u, e, o 以外の文字の場合は、その a, i, u, e, o 以外の文字を重ねて ing を付けます。

sit→sitting swim→swimming run→running

この他には、lie→lying というのもあります。

こんなややこしそうな決まりを絶対に覚えなければならないのでしょうか？いいえ、その必要はありません。私自身もこんなものを別に覚えようとしたことはありません。何回も見たり書いたりしているうちに自然とこの決まりが身に付いてきます。

進行形を過去形(過去進行形)にする場合には、その **do 動詞**ではなく **be 動詞**を過去形に変えます。

彼はここでビールを飲んでいました。

He **was** drinking (some) beer here.

some は入れなくてももちろん通じますが、とにかく何杯か飲んでいたらといった感じです。初学習者の方は、ここではあまり難しく考えないほうが良いでしょう。

基本的に、はっきりと何杯飲んだかを言う時は、a glass of beer, three glasses of beer などとします。

アメリカなどでは、ビールをビンでそのまま飲むことが多いので、a bottle of beer, five bottles of beer などと言うこともあります。

進行形の疑問文

進行形の疑問文(～しているのですか)は **be 動詞**を主語の前に書きます。

宏くんは今歴史の勉強をしているのですか。

Hiroshi **is** studing history now.

Is Hiroshi studing history now?

これに答える時は、もちろん **be 動詞**を使います。

はい、しています。 いいえ、していません。

Yes, he **is**.

No, he **isn't (is not)**.

be 動詞と一般動詞がいっしょに使われる進行形では **be 動詞**が優先されるというよう

に覚えておきましょう。

したがって Yes, he doesn't. や No, he does't. などと答えてはいけませんよ。

進行形の否定文

進行形の否定文(～してはいません)は、be 動詞の部分に not を付けます。

その人たちは、その時、その UFO を 見ていませんでした。

Those people **were not/weren't** watching the UFO then.

否定文を作る場合にも not だけを書いて be 動詞を書き忘れる人がたくさんいますので、そうしないように十分気を付けましょう。

- × She not helping her mother.
- × She doesn't helping her mother.
- She wasn't helping her mother.

[ゼロからの英語やり直し教室](#)

何事も全てはその基本基礎から始まるのです。全く英語ができないと思っている方たちにもおすすめしたい英語学習教材！この教材を使って中学や高校で習った英語のやり直しを試してみませんか。きっと今の英語力はもっと上がると信じられるはずです。

進行形の確認テスト

●次の()に入る最も適切な語句を選びなさい。

問題 1. ナンシーは昨日プールで泳いでいました。

Nancy () in the pool yesterday.

were swimming was swiming was swimming were swiming

問題 2. 彼らはこの町をよく知っています。

They () this city well.

is knowing know are knowing knows

問題 3. 私は手紙を書いているではありません。

I () a letter.

am not writing am not writting amn't writeing amn't writting

問題 4. その歌手はカナダに住んでいるのですか。

() in Canada?

Is the singer living Is the singer livieing

Does the singer live Does the singer living

問題 5. あなたはその時どこで寝ていたのですか。

Where () then?

are you sleeping are you sleeping

were you sleeping were you sleeping

解答と解説

第1問

ナンシーは昨日プールで泳いでいました。

Nancy () in the pool yesterday.

答え Nancy (**was swimming**) in the pool yesterday.

主語が Nancy で単数なので be 動詞は is の過去形である was にします。swim に ing を付けるときは m をもう1つ付けて swimming とします。

第2問

彼らはこの町をよく知っています。

They () this city well.

答え They (**know**) this city well.

「知っている」という言葉は、進行形にはなりません。また、主語が they で複数形なので know は原形のままにします。

第3問

私は手紙を書いているのではありません。

I () a letter.

答え I (**am not writing**) a letter.

am not の短縮形に amn't というものはありません。I'm not という短縮形にすることはできません。また、write に ing を付けるときは最後の e をとります。

第4問

その歌手はカナダに住んでいるのですか。

() in Canada?

答え (Does the singer live) in Canada?

「住む」という言葉も通常は進行形にしない言葉です。

Is the singer living in Canada? とすることもできますが、この場合には一時的な居住を指しますので、長く定住している場合には現在形で表すのが普通です。

第5問

あなたはその時どこで寝ていたのですか。

Where () then?

答え Where (were you sleeping) then?

主語が you で、文章が過去進行形になるので be 動詞は were にします。また sleep に ing を付けるときは、そのまま付ければ問題ありません。

5 英語の未来形

未来形とは

英文を未来形(～するつもりです、～でしょう)にするには主語と動詞の間に次の単語を書きます。

will または be 動詞＋going＋to という形にします。

そして、その後に来る**動詞はいつも原形**になります。

久美は来年アフリカを訪れる**つもりです**。

Kumi **will** visit Africa next year.

Kumi **is going to** visit Africa next year.

中学英語ではこの2つは置き換えができるように説明されているのが普通なので、学校のテストではそれでも構いません。

ただし、実際の会話の中では少し違う意味になるので、いつでも必ず置き換えられるとは限りません。(中学英語のやり直しをしている [高校生以上](#)の方は、この2つの違いを学習することをおすすめします。)

私は今日は忙しいです。

I am busy today.

私は今日の午後は忙しい**でしょう**。

I **will** be busy this afternoon.

will の直後に **be 動詞**がくると、当然にその原形である be になります。

かんたん暗記ポイント

未来形を表す文章では、主語に関係なく、動詞は必ず原形になる。

未来形の疑問文

未来形の疑問文を作る時は、will または be 動詞＋going＋to の be 動詞を主語の前に置きます。

明日は雨が降るでしょう。

It **will** rain tomorrow. = It **is going to** rain tomorrow.

明日は雨が降る**でしょうか**。

Will it rain tomorrow? (will を使った場合)

はい、降るでしょう。 いいえ、降らないでしょう。

Yes, it **will**. No, it **will not**(won't).

(be 動詞＋going＋to を使った場合)

Is it going to rain tomorrow?

Yes, it **is**. No, it **is not**(isn't).

※上記のように will の時は will で、be going to の時は be 動詞を使って答えるようにします。

未来形の否定文

未来形を使う文章の否定文(～するつもりはない、～ではないでしょう)は、will の後ろに not を付けるか、または短縮形の won't を使います。

be 動詞＋going＋to を使う場合は、be 動詞の後ろに not を書きます。

私たちは大阪に滞在するつもりはありません。

We will **not** stay in Osaka.

We **won't** stay in Osaka.

We are **not** going to stay in Osaka.

We aren't going to stay in Osaka.

簡単そうなものだけを覚えても、テストではどれが出てくるかわからないのですから、

どれが出ても困らないように、使い方をしっかり覚えておきましょう。

実際の会話をする場合にも、状況に応じてどれを使うかは大体決まってきます。

しかし、ここではあまりそれを意識する必要はないでしょう。

未来形の特別な表現

will や shall は未来を表す単語ですが、次のように使う場合は特別な意味を持つこととなります。しかし特別といっても特別むずかしいものではありません。

相手に依頼をする場合

Will you ～？（～してくれませんか）

Will you help me? 手伝ってくれませんか。

相手に申し出をする場合

Shall I ～？（「私が」～しましょうか）

Shall I open the door? ドアを開けましょうか。

相手に「みんなで～しよう」と提案をする場合

Shall we ～？（「私たちで」～しましょうか）

Shall we grow a lot of flowers? たくさんの花を育てませんか。

※Shall I と Shall we の違いをよく理解していない人もいますので、しっかりその使い方の違いを押さえておきましょう。

未来形の確認テスト

● 次の()に入る適切な語句を選びなさい。

問題 1. ぼくはその腕時計をかうつもりだよ。

I () buy the watch.

will going to am will am going to will am

問題 2. 彼は日本にはもどってこないでしょう。

He () to Japan.

willn't return will not returns won't return won't returns

問題 3. トムと君はその山に登るつもりですか。

Are Tom and you going to climb the mountain?

はい、そのつもりです。

Yes, ().

I will they are we will we are

問題 4. メアリーはそのクラブに入るでしょう。

Mary () the club.

will joins will join are going to join will going to join

問題 5. いつあなたは彼女に電話をしますか。

When () call her?

will you you will will are you will be you

解答と解説

第1問

ぼくはその腕時計をかうつもりだよ。

I () the watch.

答え I (**am going to**) buy the watch.

未来を表す言葉には will と be 動詞+going+to がありますが、これらを同時に使うときにはその決まりがあります。

この問題の場合は am going to しか適切なものではありませんが will だけを使っても良いでしょう。

will だと、たった今、買うことを決めたような感じを与えますので、以前からの気持ちを表すときには be 動詞+going+to が使われます。この違いは初学習ではあまり重視されていません。

第2問

彼は日本にはもどってこないでしょう。

He () to Japan.

答え He (**won't return**) to Japan.

未来形の否定は will not としたり、その短縮形として won't とすることができますが、willn't のような短縮形はありません。

また、これらの語の後ろに来る動詞は必ず原形にしておきましょう。

第3問

トムと君はその山に登るつもりですか。

はい、そのつもりです。

Are Tom and you going to climb the mountain?

Yes, ().

答え Yes, (**we are**).

疑問文の主語が Tom and you と複数形になっているので、答えの主語は we にしなければなりません。

例えば疑問文の主語が Tom and Nancy となっていれば、they で答えることになります。また、これは未来形の疑問文ですが最初が be 動詞になっているので、are を選ばなければなりません。

第4問

メアリーはそのクラブに入るでしょう。

Mary () the club.

答え Mary (**will join**) the club.

主語が Mary で I, you 以外の単数ですから be 動詞は is でなければなりません。したがって are going to join は使えません。

また、will の後ろにくる動詞はいつも原形ですから、will joins も使えません。

will going to join は will の後ろに be 動詞がありませんので使えません。

第5問

いつあなたは彼女に電話をしますか。

When () call her?

答え When (**will you**) call her?

未来形の疑問文で、疑問詞がある場合でも will は主語の前に置きます。また、When are you going to call her? となる答えがあれば正解とすることができます。

6 英語の代名詞

代名詞とは

代名詞とは名詞の代わりに使われる言葉で、例えば、人の名前が「あきら君」で、すでにその人のことが分かっている場合に、「彼」と言ったりする言葉のことです。

「人称」とか「～格」という文法用語を面倒だと思っ方は、特に覚えなくても構いません。

ただ、市販されている中学生用の参考書や問題集の解説には、こういう言葉がほとんど説明されずに記載(きさい)されているので、覚えておけば便利なことは確かです。

そこで、とりあえず説明をしておきます。

1人称とは、自分(私)のことや、自分を含めた自分側(私たち)のことを指します。

2人称とは、相手(あなた)のことや、複数の相手側(あなたたち)のことを指します。

3人称とは、1人称・2人称以外の全てを指します。

◆次に格の説明です。

「格」とは、「きまり」のように考えておくと良いでしょう。

つまり主格とは、「主語のきまり」ということで、日本語が「～は、が」となっている時は、それが主語になるということで、下の表で見ると I, we, you, he, she, it, they のことを指します。

その他の「格」も同じように考えてください。

最後の欄の「～のもの」には「格」の名前が付いていませんが、これも実は所有格の仲間です、特に難しい言い方になるので書いていません。(中学レベルの英語で覚える必要は全くないからです)

人称	意味	主格 ～は、 が	所有格 ～の	目的格 ～に、 を	～のもの
1 人称	私	I	my	me	mine
	私たち	we	our	us	ours
2 人称	あなた、 あなたたち	you	your	you	yours
3 人称	彼	he	his	him	his
	彼女	she	her	her	hers
	それ	it	its	it	-
	彼ら 彼女ら それら	they	their	them	theirs

それぞれの「格」に書いてある「～は」や「～の」、「～に」などは、**1つの例に過ぎない**ので、日本語がいつもこのようになっているとは限らないことに注意しておいて下さい。

例えば、「彼も大きい車を持っています。」には、「～は、が」がありませんが、「彼」が主語となることが分かれば、he が主語となることも分かるはずです。

He has a big car, too.

つまり「彼も」となっていたので、英語の too が必要になっただけです。
 これを日本語で「彼はも」などと言う人はいませんよね。

また、「私、私たち」や「あなた、あなたたち」は、英語では、それぞれ **I, you, we** しかないなので、日本語が「僕、俺たち」「お前、君たち」などとなっても迷わないようにしなければなりません。

◆さて、主格とは文の主語になるものですから、次のような文の場合には、日本語に注意しましょう。

彼は**彼女**が好きです。

○ He likes **her**.

× He likes **she**.

つまり、日本語が「彼は彼女を好きです。」となっていれば、それ程間違わずに済むの
でしょうが、日本語としては、最初の言い方が多いですね。

◆次に、特に間違いの多い **its** と **it's** の説明をします。

彼女は大きい犬を飼っています。

She has a big dog.

それの頭は白色です。

Its head is white.

後の英文の **Its** は、前の英文の **dog** を指しています。ここで間違えて **It's** としない
ように注意して下さい。

It's は **It is** の省略形ですから、これにすると次のようにおかしくなりますね。

× **It is** head is white

代名詞＋self(再帰代名詞)

代名詞に **self** を付けると「～自身で」という意味になります。

彼はこれらの箱を**自分(自身)**で作りました。

He made these boxes himself.

私はひとりごとを言った。

I said to myself.

「私は私自身に言った。」という直訳を日本語らしくしたものですね。

自分でやりなさい。

Do it yourself.

直訳にすると、「それをあなた自身でしなさい。」という意味になります。

代名詞の特別用法

one は通常「1」を表す単語ですが、これは「人」や「もの」を表す言葉のくり返しにも使います。

彼らの家はすてきです。 私も家が欲しいです。

Their house is wonderful. I want one too.

複数形の場合は s を付けます。

こちらの花が好きですか、それともあちらのですか。

Do you like these flowers or those ones?

it は時刻、日付、曜日、天気などを表す、特別な文の主語になる働きもするので、次のような英文では「それ」などと訳してはいけません。

今日はくもりです。

It is cloudy today.

今、8時半です。

It's eight thirty now.

昨日はとても寒かったです。

It was very cold yesterday.

◆その他 it, they, you, we などが日本語に訳せない場合があります。

I know a very big store in that town.

私はその町にあるとても大きな店を知っています。

Do they sell anything (that) you want?

そこは欲しいものは何でも売っているのですか。

※ これを「彼らはあなたが欲しいものは何でも売っていますか。」というように訳せないことはありませんが、この場合の they は店側の事を、you は一般的な人をそれぞれ指していると考えるのが普通です。

※ (that) は関係代名詞ですが、会話ではこの that が省略されることがしばしばあります。

代名詞の確認テスト

●次の()に入る適切な代名詞を1つ書きなさい。

問題1. あなたは私のことを知っていますか。

Do you know ()?

問題2. この帽子は彼女のです。

This hat is ().

問題3. 彼女はよくひとり言を言う。

She often says to ().

問題4. その机は古いですね。新しいのを買ったほうがいいですよ。

The desk is old. You should buy a new ().

問題5. ケイコはヒロコの妹ではありません。

Keiko isn't () sister.

解答と解説

第1問

あなたは私のことを知っていますか。

Do you know ()?

答え Do you know (**me**)?

「私のことを」は「私を」と考えましょう。about me とすることもできますが、その場合は、うわさなどで見聞きしているという意味で使われます。

第2問

この帽子は彼女のです。

This hat is ().

答え This hat is (**hers**).

ここでは「彼女の」は「彼女のもの」という意味です。her は所有格で、her hat とする必要がありますが、hat が2度繰り返されることになり、少し不自然です。

第3問

彼女はよくひとり言を言う。

She often says to ().

答え She often says to (**herself**).

「ひとりごとを言う」は say to ~self となる決まった言い方です。~self の部分は、この英文の主語に合わせて herself とします。

第4問

その机は古いですね。新しいのを買ったほうがいいですよ。

The desk is old. You should buy a new ().

答え The desk is old. You should buy a new(one).

同じ単語を繰り返す言うときには、その単語が数えられるもの(単語自体が単数形や複数形になるもの)の場合は one を使います。

他にも決まりがあるのですが、ここではこの程度の学習で十分だと思います。

第5問

ケイコはヒロコの妹ではありません。

Keiko isn't () sister.

答え Keiko isn't (Hiroko's) sister.

「～の」という言い方で、代名詞以外の単語を使うときには、その単語の最後に 's を付けます。

7 英語の形容詞と副詞

形容詞とは

形容詞は日本語の場合、「美しい」「新しい」などのように、最後が「い」で終わる言葉になります。

「静かな」という言葉は日本語では形容動詞とされていますが、英語ではこれも形容詞となります。

形容詞がどんなものであるかということをあまり考える必要はありません。単語の意味を理解すれば、自然と分かるようになると思います。

物の名前を表す名詞の前などによく使われていますよ。

これはとても**頭がよい**馬です。

This is a very **clever** horse.

次のように形容詞のみで使われる場合もありますね。

私はお**腹がすいた**。

I am **hungry**.

数や量を表す形容詞は次のように使い分けます。

単語の意味	数えられる言葉につく (数)	数えられない言葉につく (量)
たくさん の	many	much
すこし～ ある	a few	a little
ほとんど ～ない	few	little

数えられる言葉や**数えられない言葉**とは、**数を表す言葉**か、**量を表す言葉**かということです。

世界には**たくさん**の国があります。

There are **many** countries. (country は数を表します。)

田中さんは**たくさん**のお金を持っています。

Mr. Tanaka has **much** money. (money は量を表します。)

私たちは彼らを数時間待っていました。

We were waiting for them for **a few** hours.

タケオ君はほとんど水を飲みませんでした。

Takeo drank **little** water.

some は肯定文で any は疑問文や否定文で使うことが原則です。

健太君には**何人か**兄弟がいます。

Kenta has **some** brothers.

あなたには**何人か**姉妹がいますか。

Do you have **any** sisters?

いいえ、私には1人もいません。

No. I don't have any sisters. = I have no sisters.

not any ～ は、1つも(1人も)～ないという意味を表しています。

something , anything , nothing などの後ろに形容詞をつけることもあります。

I see **something white** over there.

向こうに**何か白いもの**が見えます。

something や anything も some, any と同じような使い方をします。

副詞

英語の単語の順番は、日本語よりもはっきりしています。副詞は主語の次にきたり、文の最後に来ることが多いです。また **be 動詞**がある時は、その後にくて、**do 動詞**がある時はその前にきます。

ここでも副詞という文法用語をあまり考える必要はないと思います。単語の意味をしっかり理解すればだんだんと分かってくるでしょう。

その山は**本当に**きれいだ。

The mountain is **really** beautiful.

彼女は**いつも**幸せそうに見える。

She **always** looks happy.

形容詞に **ly** が付くと副詞になります。

slow → slowly usual → usually quick → quickly

次のような文ではどちらの単語を使うべきか迷うこともあります。

His English is very good. × well

He speaks English very well. × good

単語によっては文頭や文中、文尾におくことも可能です。

(Sometimes) My father () goes to the library ().

形容詞・副詞の確認テスト

●次の()に入る適切な語句をそれぞれ選びなさい。

題 1. 何かおもしろいことはありますか。

Do you have ()?

funny anything funny any anything funny any funny

問題 2. 去年は雨がたくさん降りました。

We had () last year.

a lot of rain a lot of rains many rain much rains

問題 3. 私にはアメリカ人の友達はいません。

I don't have () American friends.

any some much a

問題 4. コップには少しオレンジジュースが入っています。

There is () orange juice in the glass.

little a little few a few

問題 5. ミカはよくテニスをします。

Mika () plays tennis.

much often many well

解答と解説

第1問

何かおもしろいことはありますか。

Do you have ()?

答え Do you have (anything funny)?

anything の後ろに形容詞である funny(おもしろい)をおきます。
funny any、any funny などの言い方はありません。

第2問

去年は雨がたくさん降りました。

We had () last year.

答え We had (a lot of rain) last year.

rain は数えられない単語なので s は付きません。また many は数えられる単語に付けるので many rain とは言えません。

much の場合には much rain になっていれば正解とすることができます。ちなみに we had は「私たちは持っていなかった」とすると日本語が不自然になるのでそのようには訳しません。

第3問

私にはアメリカ人の友達はいません。

I don't have () American friends

答え I don't have (any) American friends

これは否定文なので some は通常使いません。much は数えられない単語に使うので、much American friends とはできません。a を使うのは、その後の単語の最初の発音が母音以外の時です。American の最初の発音は母音なので an 可能性はありますが、最後に friends と複数形になっているので、これも使えません。

第4問

コップには少しオレンジジュースが入っています。

There is () orange juice in the glass.

答え There is (a little) orange juice in the glass.

little と few は「ほとんど～ない」となりますので、使えません。

a few は数えられる単語が後ろに来たときだけ使えますが、juice は普通、数えられない言葉となります。a glass of orange juice のように使います。

第5問

ミカはよくテニスをします。

Mika () plays tennis.

答え Mika (often) plays tennis

「よく」というのは、ここでは「しばしば、ひんぱんに」という意味です。well は「じょうずに」という意味です。

much, many はこのような場所におくことはできません。many times 「何度も」として文章の最後に書くことは可能ですが、自然な言い方ではありません。

8 助動詞とはどんなもの

助動詞とは、まさしくその字の通り、動詞を助ける言葉です。**英語では主語の次に来**ますが、意味だけを考えると、日本語の助動詞とは少し違いがあります。

助動詞の語順や意味

助動詞が英文に入ってくる時の語順は、**主語+助動詞+動詞の原形**です。

中学レベルで必要な英語の助動詞には、次のようなものがあります。

will ～でしょう

would I would like ～ Would you ～ Would you like ～ などの形で出てきます。

can ～できる

could ～できた(**can の過去形**)

may ～してもよい、～かもしれない

shall Shall I ～ Shall we ～ の形でのみ出てきます。

should ～すべきだ(**shall の過去形**)

※ どちらかと言うと「～した方がよい」というような、柔らかい感じで使われる単語です。

must ～しなければならない、～にちがいない

また、英文に助動詞がある場合は、主語が何であろうと、必ず**動詞は原形**になります。

そして、**主語によって助動詞の形が変わることはない**ので s が付くなどということも当然にありません。

次の例文で、その使い方を確認してみましょう。

私はフランス語を教えることができます。

I **can** teach French.

彼はむかし逆立ちをができました。

He **could** stand on his hands a long time ago.

あなたは明日までにその仕事を終えなければなりません。

You **must** finish the work by tomorrow.

助動詞の疑問文

助動詞を使う文章の疑問文は、**主語の前に助動詞を置けば**できあがりです。

私たちはここでテニスの練習をすることができますか。

Can we practice tennis here?

Yes, you can. No, you can not (can't または **cannot**).

★**must** の場合に No で答えるには注意が必要です。

彼女は今日アメリカに出発しなければなりませんか。

Must she leave for America today?

Yes, she must.

はい、今日出発しなければなりません。

No, she **doesn't have to**.

いいえ、今日出発しなくてもいいです。

※**No, she must not (mustn't)**.

「いいえ、今日出発してはいけません」というような意味になるので、その前後関係を
考えて答える必要があります。

助動詞の否定文

助動詞を使う文章の否定文は、その助動詞の後に **not** を付けます。

あなたはそこへ1人で行くべきではない。

You should not (shouldn't) go there alone.

can の否定の短縮形には **can't** や **cannot** があります。can の過去形は **could** で、同じように **not** をその後ろにつけます。

私たちはその質問に答えることができませんでした。

We could not (couldn't) answer the question.

あなたたちはその話を信じてはいけません。

You must not (mustn't) believe that story.

あなたたちはその話を信じなくてもいいです。

You don't have to believe that story.

主語が **I, you** 以外の単数の時は **doesn't have to** になります。

助動詞の関連語句

上の助動詞と同じ意味を持つ語句があります。

can = be able to

will can も助動詞なので、will can となることはありません。

この場合には必ず **be able to** を使います。

ジョンは彼女にまた会うことができるでしょう。

○ John will be able to meet her again.

× John will can to meet her again.

過去形の場合は **be 動詞** の部分を過去形にします。

彼女はとてもじょうずに踊ることができました。

She **was able to** dance very well.

= She **could** dance very well.

must = have to

will must とすることもできないので、この場合には必ず **have to** を使います。

トムとボクはその会議に参加しなければならないでしょう。

○ Tom and I will have to join the meeting.

× Tom and I will must join the meeting.

主語が I, you 以外の単数の時に will を使う必要のない時は has to になります。

彼女はすぐに決断しなければなりません。

She **has to** decide at once.

イメージで覚えよう！

助動詞は動詞の手助けをしてくれる言葉ですから、英文が過去形でも未来形でも**動詞は原形のまま**にしておき、助手(**助動詞**)にしっかり働いてもらいましょう。

ご主人様(動詞)は動かずに、えらそうにふんぞり返っておけばいいのです。

「**助動詞よ、しっかり働け！**」

みたいな感じです。(^^)

助動詞の確認テスト

●次の()に入る適切な語句をそれぞれ選びなさい。

問題 1. ぼくのお兄ちゃんはケーキを作ることができるんだよ。

My brother () a cake.

can makes can make can makeis cans make

問題 2. 私はこの本を読まなければいけないのですか。

() read this book?

Have I to Do I must Do I have to Must I have to

問題 3. メグは自分の家を売ることができるでしょう。

Meg () sell her house.

will be able to will can will is able to will be can

問題 4. この部屋に入ってはいけません。

You () enter this room.

must musn't mustn't not must

問題 5. 彼らはその質問に答えることができましたか。

はい、できました。

Could they answer the question?

Yes, ().

they can could they they were they could

解答と解説

第1問

ぼくのお兄ちゃんはケーキを作ることができるんだよ。

My brother () a cake.

答え My brother (**can make**) a cake.

can を使う文章では動詞は主語が何であっても、いつも原形にします。したがって、make(作る)という動詞には s を付けてはいけませんし、もちろん can に s がつくこともありません。

第2問

私はこの本を読まなければいけないのですか。

() read this book?

答え (**Do I have to**) read this book?

「～しなければいけない」には must や have to を使うことができますが、have to を使うときの疑問文は do を使います。must を使うときは must を主語の前に置くと疑問文になります。must と have to を同時に使うことはできません。

第3問

メグは自分の家を売ることができるでしょう。

Meg () sell her house.

答え Meg (**will be able to**) sell her house.

「～できるでしょう」は未来形ですが、can と will を同時に使うことはできません。さらに be 動詞は原形の be のままにしておかなければなりません。

第4問

この部屋に入ってはいけません。

You () enter this room.

答え You (**mustn't**) enter this room.

must の否定形を考えなければいけない問題です。must not か mustn't のどちらかにする必要があります。また mustn't の発音は(マスト)で(マストント)ではありませんので気を付けましょう。

第5問

彼らはその質問に答えることができましたか。

はい、できました。

Could they answer the question?

Yes, ().

答え Yes, (**they could**).

疑問文が could になっていますので答える時にも could を使う必要があります。答えるときにはもちろん they の後ろに could を置かなければなりません。

9 命令文

命令文とは

命令とは、普通、目の前にいる人に直接することですから、命令文には主語がありません。したがって、英語で命令文を書く場合は、最初に動詞がきます。その場合の動詞はいつも原形になります。

英語の勉強を**しなさい**。

Study English.

お年寄りには親切に**しなさい**。

Be kind old people.

「親切な」というのは動詞ではありませんので、その単語の前に **be 動詞**が必要です。そして原形にするわけですから **Be** となるわけです。

be 動詞の原形は覚えていましたか？

相手に対して「どうぞ～してください」と丁寧に命令する場合があります。その時には命令文の前か後ろに **please** を付けます。

どうぞここに来てください。

Please come here.= Come here, **please**.

please が後ろに来た場合は**コンマ**が付くことに気を付けましょう。

「～しましょう」という、人を誘うような文も命令文の仲間です。

「～しましょう」の英語は **let's** です。

博物館まで歩いて行き**ましょう**。

Let's walk to the museum.

はい、行きましょう。 いいえ、やめましょう。

Yes, let's.

No, let's not.

※walk は「歩く」という意味ですが、「歩いて行く」となることもあります。
walk go としないようにしましょう。

否定の命令文

否定の命令文とは「～するな、～してはいけません」という文のことです。命令文の前に Don't をド～ンツと書きましょう。

その動物にはさわるな。

Don't touch the animal.

恐がらないでね。

Don't be afraid!

be 動詞も動詞の一つですから、このような否定の命令文もよく使われますよ。

ていねいに言う時には、同じように please を付けます。

どうぞ私のことを忘れないでください。

Please don't forget me.

もしくは

Don't forget me, please.

命令文の確認テスト

● 次の()内に入る適切な単語を1つ書きなさい。

問題 1. 自分の部屋のそうじは毎日しなさい。

() your room every day.

問題 2. お年寄りには親切にしなさい。

() kind old people.

問題 3. 公園まで歩いて行きましょう。

() walk to the park.

問題 4. 今テレビを見てはいけません。

() watch TV now.

問題 5. どうか我々を助けてください。

() help us.

解答と解説

第1問

自分の部屋のそうじは毎日しなさい。

() your room every day.

答え (**Clean**) your room every day.

もっとも基本的な問題です。命令文は動詞の原形を文の最初に書きます。

第2問

お年寄りには親切にしなさい。

() kind old people.

答え (**Be**) kind old people.

命令文の最初には動詞を原形にして書かなければなりませんが、kind は動詞ではないので be 動詞を使う必要があります。

もちろん be 動詞も原形である Be にしなければなりません。

第3問

公園まで歩いて行きましょう。

() walk to the park.

答え (**Let's**) walk to the park.

「～しましょう」は let's～ ですね。文章の最初ですから大文字にすることを忘れないようにしましょう。

第4問

今テレビを見てはいけません。

() watch TV now.

答え (Don't) watch TV now.

「～してはいけません」は否定の命令文ですから文の最初に Don't を書きましょう。

Do not と分けて書いてもよいと思います。

第5問

どうか我々を助けてください。

() help us.

答え (Please) help us.

ていねいな命令文ですから please を文の最初か最後に書きましょう。

英語で会話をする時にはとても大切な言葉ですから、自然と使えるようにしておきましょう。

10 感嘆文

感嘆文とは

感嘆文(かんとんぶん)とは、驚きや感動をあらわすときに使う言葉です。意味は「なんと～なんだろう」のようになり、英語では次のような形にします。

What + (a または an) + 形容詞 + 名詞 + **主語** + 動詞！

なんとこれは大きなカブトムシなんだろう。

What a big beetle **this** is !

どれのことを見て言っているのかが分かる場合は、**主語と動詞の部分**を省略して言うこともよくあります。

What a big beetle !

なんて大きなカブトムシなんだろう。

★会話文では、特にこのように言うことが多いかも知れません。

複数形にすると次のようになります。

なんとこれらは大きなカブトムシなんだろう。

What big beetles **these** are!

または

What big beetles!

感嘆文は次のように how を使うこともあります。

How + 形容詞(副詞) + **主語** + 動詞！

なんとこのカブトムシは大きいのだろう。

How big **this beetle** is!

なんとこれらのカブトムシは大きいのだろう。

How big **these beetles** are!

What と How の使い分けは、その後ろの語句に、この二つの単語に直接かかる名詞があるかどうかで決まります。

つまり、感嘆文の主語と動詞を除いた部分が名詞で終わっていれば what で、名詞で終わっていなければ how になるということです。

上の例文で言えば beetle(s) がその名詞に当たります。

最終的には What と言った瞬間に、何かの名詞が頭の中で浮かび、How と言った瞬間に名詞では終われないという感覚が身に付けば、会話でもスムーズに使えるようになります。

しかしながら、それはかなり初級者には難しいので、そのためにもここに出てくる例文などを使って、いろいろな単語に置き換えるなどして繰り返し練習してみてください。

また、文章にする時は、最後の **!** も忘れないようにしましょう。

通常の記事から感嘆文に書き換える時

これはとても素敵な家だね。

This is a very nice house.



これはなんて素敵な家なんだろう。

What a nice house this is !



What a nice house!

この家はとても素敵だね。

This house is very nice.



この家はなんと素敵なんだろう。

How nice this house is !



How nice!

11 接続詞

接続詞とは

接続詞とは、文と文や単語と単語を結ぶ言葉のことです。

例えば **and** は、よく「～と」や「そして」の意味で使われます。

純子**と**久美は高校生です。

Junko **and** Kumi are high school students.

また「**そうすれば**」という意味にも使われます。

一生けんめい勉強しなさい、**そうすれば**あなたのお母さんも喜ぶでしょう。

Study hard, **and** your mother will be happy.

or は「**それとも**」「**または**」のような意味で使われます。

あなたは鹿児島出身ですか**それとも**宮崎ですか。

Are you from Kagosima **or** Miyazaki?

また「**さもないと**」という意味でも使われます。

一生けんめい働きなさい、**さもないと**あなたのお母さんは悲しむでしょう。

Work hard, **or** your mother will be sad.

but は「～しかし」「**でも**」といった意味で使われます。

私は父親の手伝いをしましたが**が**、お金はくれませんでした。

I helped my father, **but** he didn't give me any money.

日本語の読点と英語のコンマの位置に注意しましょう。

その他の接続詞

when は「いつ」という意味で疑問文に使われる単語ですが、「～のとき」の意味で、接続詞として使われることがあります。

私が家に帰ってきたとき、娘は寝ていました。

① When I came home , my daughter was sleeping.

when のついた文を後ろにすることもあります。

② My daughter was sleeping when I came home.

①の文では when の付いた文の後ろにコンマがあることに注意してください。

また②の文でも①の文と同じように訳しますので、「私の娘が寝ていたとき、私は家に帰ってきました」のように訳さないように気をつけましょう。ここでは、意味は同じことですが、場合によってはおかしな意味になることがあります。

I was very happy when I found this letter.

○私はこの手紙を見つけたとき、私はとてもうれしかった。

×私はとてもうれしかったとき、私はこの手紙を見つけた。

when はいつもそのうしろにある文にくっついているということです。

このような勘違いをする人がよくいますよ。when が文の途中にあるときはその前で文を区切って考えてみましょう。

because「～なので」や if「もし～なら」も同じように考えましょう。

He couldn't go out because he was sick.

○彼は病気だったので、出かけられませんでした。

×彼は出かけられなかったので、病気でした。

We will go to the park if it is sunny tomorrow.

もし明日晴れたら、私たちは公園に行きます。

接続詞 that

that は「あれ」や「あの」という意味を持つ単語ですが、これも文と文をつなぐ接続詞として使われることがよくありますので、とても重要です。

しかし、この接続詞は日本語の訳として出てくることはあまりありません。

次の例文で学習してみましょう。

I think. 私は思います。

A computer is very useful. コンピュータはとても便利です。

この2つの英文を that を使って1つにすることができます。

I think **that** a computer is very useful.

私はコンピュータはとても便利だと思います。

この英文にこの that の訳を無理やり入れると次のようになるでしょう。

私はコンピュータはとても便利だ**ということ**を思います。

あまり日本語らしくならないので、やっぱりこのような訳はやめた方がよいでしょう。しかし、日本語から英語にする時には、慣れないうちはこのような考え方をしておくことも必要でしょう。

それでは、次の場合はどうでしょうか。

英語はとてもむずかしいと思います。

× English thinks very difficult.

このような英語をつい書いてしまう人がたくさんいます。

この文の主語は「英語は」のような気がしますが、実は「私は」がかかれています。

私は英語はとてもむずかしいと思います。

このようにすると、先ほどの例文と同じように考えることができますか。

もちろん答えは次のようになります。

○ I think that English is very difficult.

実はこの接続詞である **that** は省略をすることができるのです。英語も言葉なのです。

から、特に会話の時には、面倒な言葉は少しでもはぶいてしまうことが多いのです。

では that を使えばどんな文でもつなぐことができるのでしょうか。

2つの文が that でつながれる場合は、基本的な動詞においては次のようなものに
ほぼ限られていますので、これらもついでに覚えておきましょう。

We **know** (**that**) soccer isn't very popular in USA.

私たちはアメリカではサッカーはあまり人気がないことを知っています。

He **hopes** (**that**) the man will be punished.

彼はその人が罰せられることを望んでいます。

基本的には that の前の動詞である think, know, hope などが過去形になると that
より後ろの文章の動詞も過去形になります。

I **think** (**that**) Mr. Yoshida **is** a policeman.

吉田さんは警察官だと思う。



I **thought** (**that**) Mr. Yoshida **was** a policeman.

吉田さんは警察官だと思った。

接続詞の確認テスト

●次の()に入る適切な単語を選びなさい。

問題 1. Nancy can play the piano, () he can't.

and but because when

問題 2. Get up early, () you will be late for the school.

when but if or

問題 3. Study English, () you can talk to everyone in the world.

or and but if

問題 4. I will be very happy () you marry me. marry (結婚する)

or but if and

問題 5. I was watching TV () my father came home.

because and or when

解答と解説

第1問

Nancy can play the piano, () he can't.

答え Nancy can play the piano, (but) he can't.

意味は「ナンシーはピアノを弾くことができますが彼はできません。」となります。

第2問

Get up early, () you will be late for the school.

答え Get up early, (or) you will be late for the school.

意味は「早く起きなさい、さもないと学校に遅れるよ。」となります。

第3問

Study English, () you can talk to everyone in the world.

答え Study English, (and) you can talk to everyone in the world.

意味は「英語の勉強をきなさい、そうすれば世界中のみんなと話ができます。」となります。

第4問

I will be very happy () you marry me.

答え I will be very happy (if) you marry me.

意味は「もしあなたが私と結婚してくれたら、私はとても幸せでしょう。」となります。

第5問

I was watching TV () my father came home.

答え I was watching TV (**when**) my father came home.

意味は「私はお父さんが帰ってきた**とき**、テレビを見ていました。」となります。

12 前置詞

前置詞とは

前置詞(ぜんちし)というのは簡単に言うと、単語、語句等の前に置かれる詞(ことば)のことです。

このような説明だけでは、何のことかよく意味がわからないと思いますが、前置詞はその後に置かれた語句を修飾し、いろいろな意味を与えることが出来る詞(ことば)なのです。

これは日本語にはない文法なので、難しい部分もありますが、何事も基礎からしっかりと勉強していけば、少しずつ段々と分かってくると思います。

また、英語を理解するにあたって大変重要なものなので、絶対に避けて通ることはできませんが、これもある程度決まった使い方があるので、まずは、各自が取り組みやすいところからその使い方を学習して行ってみて下さい。

●時をあらわす前置詞

at nine 9時に(時間) on Monday 月曜日に(曜日)

in July 7月に(月) in winter 冬に(季節)

for three days 3日間(期間) in the morning 朝に(時間帯)

after school 放課後 before dinner 夕食前・・・など

もちろん上記の言い方が基本的なものになりますが、他の語句と一緒に使われる場合には、これらとは違った前置詞が使われることがあります。

in July 7月に

↓

on July 4(th) または on the fourth of July など

「7月4日に」という意味です。

例えば、月の場合はその前に on を使いますが、その前後に日にちを表す語句がく

れば、このように、日にちに合わせて **on** にするのが普通です。

in the morning 朝に、午前中に

↓

on Sunday morning **on** または the morning of Sunday など

この場合も **in** the morning や **in** the evening などと言うのが普通ですが、曜日など別の語句が付けば **in** でなく **on** にするのが普通です。

●場所をあらわす前置詞

at the airport 空港で

in the box 箱の中に

on the table テーブルの上に

by the window 窓のそばに

near the park 公園の近く

under the desk 机の下に……など

●その他の前置詞

by bike 自転車で

with him 彼といっしょに

to her house 彼女の家まで

about this story この物語について

in English 英語で

without your help あなたの助けなしで

during summer vacation 夏休みの間じゅう

along this street この川に沿って

across the river その通りを横切って・・・など

in は「～の中に」、on は「～の上に」のような意味で使われることが多いのですが、上記のような形でも使われます。

その他の前置詞にも、いろいろな意味や使い方があることに注意してください。

連語と前置詞

前置詞は他の語と結びつき、決まった言い方になることがあります。

look for ～ ～をさがす get to ～ ～に着く

be good at ～ ～が得意である at last ついに

give up ～ ～をあきらめる over there 向こうへ

sit around ぶらぶらする take off 離陸する、(靴などを)脱ぐ

write to～ ～に手紙を書く・・・など

前置詞をシッカリ理解すると、英語がされによくわかってきますよ。

前置詞の確認テスト

●次の()に入る適切な単語を1つ書きなさい。

問題 1. 7月は8月の前にきます。

July comes () August.

問題 2. ぼくはお父さんとこの机を作りました。

I made this desk () my father.

問題 3. 君はどうやって学校に行きますか。歩いて行きます。

How do you go to school? () foot.

問題 4. みんな彼のことを知っています。

Everyone knows () him.

問題 5. ここでは日本語で話をしてはいけません。

Don't talk () Japanese here.

解答と解説

第1問

7月は8月の前にきます。

July comes () August.

答え July comes (before) August.

「～の前に」という意味の単語は in front of という連語もありますが、これは建物など、目に見える物などに使われるものです。

時期や季節などの場合には before を使います。

第2問

ぼくはお父さんとこの机を作りました。

I made this desk () my father.

答え I made this desk (with) my father.

with は「～といっしょに」という意味があります。日本語の訳には「～と」だけになっていますが、うまく日本語を見抜く必要があります。

第3問

君はどうやって学校に行きますか。歩いて行きます。

How do you go to school? () foot.

答え How do you go to school? (on) foot.

「歩いて学校へ行きます。」という答えは、英語にすると I go to school on foot. となりますが、On foot. としています。

文章の最初を大文字にする必要がありますので気をつけましょう。

また、別の言い方として I walk to school. とすることもできます。

第4問

みんな彼のことを知っています。

Everyone knows () him.

答え Everyone knows (**about**) him.

about は「～について」という訳ができますが、ここでも日本語をよく考える必要があります。

そして know about ～ という言い方はよく出てきますのでしっかり覚えましょう。

第5問

ここでは日本語で話をしてはいけません。

Don't talk () Japanese here.

答え Don't talk (**in**) Japanese here.

「～語で」という言い方もよく使われるのでしっかり覚えましょう。

talk **to** Japanese にすると「日本人と話をする」になります。

in English 英語で in French フランス語で in Spanish スペイン語で
in Chinese 中国語で

13 比較

比較-原級

比較とは、2つ以上のものを比べる時の表現方法です。

まずは単語の**原級**(原形)を使う比較の文を学習しましょう。

比較に使われる単語は 形容詞と副詞 です。

as ~ as ... 「...と同じくらい~」という意味の文になります。

健太は背が高い。

Kenta is tall.

tall は形容詞で、これは比較を使っていない英文ですね。

これを as ~ as を使って他の人(もの)と比べます。

↓

as と as の間には形容詞や副詞の原級(原形)が入ります。

↓

健太はボブ**と同じくらい背が高い**。

Kenta is **as tall as** Bob.

tall は tall のままで変わりません。

★次の例題も同じ要領です。

裕子は速く泳ぐことができます。

Yuko can swim fast.

↓

裕子は久美と**同じくらい速く**泳ぐことができます。

Yuko can swim **as fast as** Kumi.

この場合の fast は副詞です。

否定文で not as ~ as ... とすると「...ほど～ではない」または「...と同じ～ではない」というような意味になります。

この川は信濃川ほど長くはない。

This river is not as long as the Shinano river.

つまり、「この川は信濃川より短い。」ということです。

比較級と最上級

比較級とは「～より～だ」という表現で、最上級とは「一番(最も)～だ」という表現です。

比較級や最上級は、形容詞または副詞の単語を次のようにしたものです。

★比較級の基本はそれらの単語の後ろに **er** を、最上級は **est** を付けます。

old → older → oldest slow → slower → slowest

short → shorter → shortest

★単語の後ろが **e** になっているものは、比較級であれば **r** を、最上級であれば **st** 付けるだけです。

large → larger → largest late → later → latest

wide → wider → widest

★単語の後ろが **y** で終わっているものは比較級であれば **y** を **i** に変えて **er** を、最上級であれば **est** 付けます。

happy → happier → happiest

pretty → prettier → prettiest

early → earlier → earliest

★単語の最後の文字を重ねる場合もあります。

big → bigger → biggest

sad → sadder → saddest

★単語のつづりが長い比較級では more を、最上級では most を付けます。単語の長さの判断では微妙なものもありますが、それぞれの単語でどうなるかを覚えたほうがよいでしょう。

文法的には音節が2つで more, most をつけるものもありますが、3つ以上の音節がある単語は長い単語と考えておいて良いでしょう。

★音節とは、例えば、日本語で「くるま」は「く・る・ま」と一字一字を分けた音のことです。英語でこれを分けるのは少し難しいところがありますので、次の例を参考にして下さい。

2音節の単語

clever → cleverer → cleverest

これも more most をつけて言う場合もあります。
(clever → clev + er と、分けることができます。)

useful → more useful → most useful

3音節の単語

interesting → more interesting → most interesting

beautiful → more beautiful → most beautiful

比較級で文を作ると時は 比較級 + than... の形で、「...より__ だ」という意味の文になります。

彼は私より背が高いです。

He is taller than I.

最上級で文を作ると the + 最上級 + in (of) ... 「...の中で一番__ 」という意味になります。

彼はこのクラスの中で一番背が高い。

He is the tallest in this class.

以上のやり方が基本となりますが、もちろん例外もあります。

例えば fun は形容詞の意味で「楽しい」という意味を持つ単語です。

音節は1つしかありませんが、通常は more, most を付け、funner, funnest となることはほとんどありません。

疑問詞を使った比較

疑問詞による比較の文では次のようになります。

リカとエミではどちらが年上ですか。

Who is older, Rika or Emi?

「どちらが」となっていますが、この場合には人を比べているので which ではなく who を使います。

エミです。

Emi is. (Emi is older than Rika.)

答え方は、主語を聞いているので、It is Emi. としないようにしましょう。会話では通じますが、文法的に間違っていることになります。

これらの本の中でどれが一番簡単ですか。

Which is the easiest of these books?

これです。

This one is. (one は book の言い換えです。)

of と in の使い方の違いはちょっと難しいですが、その後ろの語句に複数形の単語が使われていれば of を使い、全体のまとまりのような形を表す語句があれば in を使うと考えておきましょう。例文は上に示しておりますので、よく比べてみてください。

その他の比較

比較級や最上級の変化で特別な形になる場合があります。

good(よい) → better(より良い) → best(最も良い)

well(上手に) → better(より上手に) → best(最も上手に)

good と well の比較級と最上級は同じ形なので、文脈の中で読み取る必要があります。しっかり確認しながら覚えましょう。

ヒロキは**上手に**英語を話すことができます。

Hiroki can speak English **well**

↓

ヒロキはマキ**より上手に**英語を話すことができます。

Hiroki can speak English **better** than Maki.

↓

ヒロキはみんなの中で**一番上手に**英語を話すことができます。

Hiroki can speak English (the) **best** of all.

many(たくさん[数]) → more → most

much(たくさん[量]) → more → most

この2つの比較級と最上級は同じ形なので気をつけましょう。

ブラウンさんは**たくさん**お金を持っています。

Mr. Brown has **much** money.

↓

ブラウンさんは私**よりたくさん**お金を持っています。

Mr. Brown has **more** money than I.

↓

ブラウンさんは世界で**一番たくさん**お金を持っています。

Mr. Brown has the **most** money in the world.

この国ではこれは**他のどの車よりも人気**があります。

This is **more popular than any other** car in this country.

= This is the most popular car in this country.

このような形にすれば、比較級の形で最上級の意味を表すことができます。また **any other** の後の語句は、例文のように単数形になります。つまり **any other cars** としてはいけないという事です。

比較の確認テスト

● 次の()に入る最も適切な語句を選びなさい。

問題 1. 君の犬は僕より可愛いな。

Your dog is () than mine.

prettier prettyer prettiest prettyest

問題 2. どちらの船がより大きいですか。

Which ship is ()?

large larger large than larger than

問題 3. マイクは私と同じくらい上手に日本語が読めます。

Mike can read Japanese () I.

as good as as much as as well as as better as

問題 4. サッカーは全てのスポーツの中で最も人気がありますか。

Is soccer () all sports?

the most popular in the most popular of

the most popularest in the most popularest of

問題 5. 富士山は桜島よりずっと有名です。

Mt. Fuji is () than Mt. Sakurajima.

very famous much famouser much more famous

very more famous

解答と解説

第1問

Your dog is () than mine.

答え Your dog is (**prettier**) than mine.

この問題では日本語の訳がありませんが、than という単語が()の次にあるので**比較級**であることを考えなければなりません。

pretty (かわいい)の比較級は y で終わっているなので、y を i に変えて er を付けます。

英文の意味は「あなたの犬は私の犬よりもかわいいです」です。

第2問

どちらの船がより大きいですか。

Which ship is ()?

答え Which ship is (**larger**)?

これも比較級の問題ですが、比べる2つのものが書かれていないので than は付けられません。

第3問

マイクは私と同じくらい上手に日本語が読めます。

Mike can read Japanese () I.

答え Mike can read Japanese (**as well as**) I.

as ~ as...は「...と同じくらい~だ」という意味で~に入る言葉は原形を入れなければなりません。したがって「上手に」は good ではなく well です。much は「多い」という意味になります。

第4問

サッカーは全てのスポーツの中で最も人気がありますか。

Is soccer () all sports?

答え Is soccer (**the most popular of**) all sports?

つづりが長い単語の最上級では、その単語の前に the most を付け、その単語自体は原形のままにしておきます。また、「～の中で」を表す単語は、この場合、その後ろの語句複数形の同種類を表しているので of を使います。複数形の単語が使われていれば of を使い、全体のまとまりのような形を表す語句があれば in を使うと考えましょう。

第5問

富士山は桜島よりずっと有名です。

Mt.Fuji is () than Mt.Sakurajima.

答え Mt.Fuji is (**much more famous**) than Mt.Sakurajima.

「～より**ずっと**」と比較級を強調する場合は very ではなく much を使います。これは、もちろん「たくさん」を表しているわけではありません。famous の比較級は more を付けるのが普通です。

14 不定詞

不定詞とは

不定詞とは、動詞の意味をもちながら、名詞や形容詞、副詞の働きをする言葉です。と言っても今一ピンときませんよね。

日本語の文法には不定詞というものはないので、少しむずかしいかも知れませんが、ガンバッテ勉強してみましょう！

不定詞の形は to+動詞の原形で、その意味の取り方がとても大事になります。

この意味の取り方が次の3通りあるのです。

名詞的用法(～すること)

私は音楽をきくことが好きです。

I like to listen to music.

「・・・音楽をきくのが・・・」としても良いでしょう。

彼の母は外国に行きたがっています。

His mother wants to go abroad.

「・・・外国に行くことを・・・」のように、いつも「～すること」とすると、日本語らしくなくなります。

常に日本語の訳をうまく考えてみるようにしましょう。

副詞的用法(～するために)

彼らは食料を買うためによくその店に行きます。

They often go to the store to buy some food.

「・・・買うために・・・」が「・・・買いに・・・」となっていることもあるので気をつけましょう。

私は彼女に会えてうれしいです。

I am glad to see her.

ここでは「～して」という形にする必要があります。

形容詞的用法(～するための)

何か**食べるもの**が欲しいですか。

Do you want anything **to eat**?

「・・・食べるための・・・」ではあまり日本語らしくありません。

彼には**やるべき**仕事がたくさんある。

He has a lot of work **to do**.

「・・・やらなければいけない仕事・・・」としてもいいでしょう。

日本語にはいろいろな表現の仕方があるので、そのつど、うまく訳を考えてみましょう。

無理に用法の名前を覚える必要はありませんが、それらの**意味の取り方だけはしっかりと覚えておきましょう。**

疑問詞を使った不定詞

疑問詞と不定詞をいっしょに使うものもあり、意味はそれぞれ次のようになります。

how to + **動詞の原形** (どのように すべきか)

私はその歌の**歌いかた**を知りません。

I don't know **how to sing** the song.

what to + **動詞の原形** (何を すべきか)

何を持ってきたらよいのか教えてください。

Tell me **what to bring**.

when to + **動詞の原形** (いつ すべきか)

彼らはそこへいつ行くべきか分かりませんでした。

They didn't know **when to go** there.

where to + **動詞の原形** (どこで[へ] _____ すべきか)

私たちはどこで練習するべきか話し合った。

We discussed **where to practice**.

which to + **動詞の原形** (どれを _____ すべきか)

ナンシーはどれを選ぶべきか考えました。

Nancy thought **which to choose**.

その他の不定詞

動詞+目的語+to～ の形であらわされる不定詞を覚えましょう。

この動詞の部分に使われるのは次のような3つがよく出てきます。

また目的語にあたる部分には[人]になることが多いです。

ask ～ to・・・ ～に・・・するように頼む

お父さんは僕に車を洗うように頼みました。

My father **asked me to wash** the car.

tell ～ to・・・ ～に・・・するように言う

お母さんは毎日私たちに勉強するように言います。

My mother **told us to study** every day.

want ～ to・・・ ～に・・・してもらいたい

私はあなたに医者になってもらいたい。

I want you to become a doctor.

ここでは、それぞれの英文の目的語は me, us, you ということです。

もちろん目的語は「人」でなくとも、犬とか猫のような人の言う事を聞いてくれる動物になることもありますよ。

You must tell your dog to be quiet.

「あなたの犬に静かにするように言いなさい。」

疑問詞の確認テスト

●次の()に入る適切な語句を選びなさい。

問題 1. ニックは買い物に行くのは好きではありません。

Nick doesn't () shopping.

go to like, like to go, go like to, like go to

問題 2. 何か私に話すことはありますか。

Do you have () me?

anything tell to, anything to tell, tell to anything, tell anything to

問題 3. 彼はその仕事を終えるために家に帰らなければなりません。

He has to () the work.

go home to finish, go to finish homo, finish to go home, finish home to go

問題 4. 私はそれを知ってとても幸せです。

I am very happy ().

know to that, that to know, to that know, to know that

問題 5. 英語を教えることはむずかしい。

() is difficult.

English to teach, Teach to English, To teach English, To English teach

解答と解説

第1問

ニックは買い物に行くのは好きではありません。

Nick doesn't () shopping.

答え Nick doesn't (like to go) shopping.

「行くのは」という部分が、不定詞の「～することは」に相当するので to go となります。したがって「行くことが好きだ」となれば like to go となります。

第2問

何か私に話すことはありますか。

Do you have () me?

答え Do you have (anything to tell) me?

「何か話す事」は「～するための」ということで to tell となります。したがって、「何か話すこと」は anything to tell となります。

第3問

彼はその仕事を終えるために家に帰らなければなりません。

He has to () the work.

答え He has to (go home to finish) the work.

「終えるために」は to finish となり、また、「家に帰る」は go home となります。

第4問

私はそれを知ってとても幸せです。

I am very happy ().

答え I am very happy (to know that).

「知って」は原因や理由を表す不定詞となり to know とします。

that は「あれ」ばかりでなく「それ」と訳すこともあります。

第5問

英語を教えることはむずかしい。

() is difficult.

答え (To teach English) is difficult.

不定詞は主語の部分にすることもできます。

そこで「教えること」は to teach となり、その後ろに English を置きます。

15 動名詞

動名詞とは

動名詞とは一般動詞(do 動詞)に ing を付けた形の動詞のことですが、ここでは進行形とは違ったものであることを理解しましょう。

進行形は、「～している」という意味で使われますが、動名詞は、「～すること」という意味で使われます。

この形が出てきたら、どちらで訳をするかは、その英文をよく見て考える必要があるので注意しましょう。

進行形

He **is swimming** in the river now.

彼は今川で泳いでいます。

※ be 動詞+動詞 ing の形になっているので、進行形の「～している」と訳さなければならぬことが分かるはずです。

動名詞

I like **swimming** in the river.

ぼくは川で**泳ぐの(泳ぐこと)**が好きです。

※「ぼくは川で泳いでいるのが好きです。」としても日本語は成立しますが、これは英文の形からも進行形にはなっていないので、動名詞として訳さなければいけません。

She is good at **drawing** pictures. 彼女は絵を**描くの(描くこと)**が得意です。

Collecting stamps is very interesting. 切手を**集めること**はとてもおもしろいです。

動名詞と不定詞

上の説明のように、動名詞は不定詞の名詞的用法と同じ、**～すること**、という意味をあらわします。

したがって、その意味で英文を書く場合には、どちらでも選ぶことができるということです。

ぼくたちは海で泳ぐのが好きです。 We like **swimming (to swim)** in the sea.

※ like の後ろに **～すること**、となる言葉をつける場合は、動名詞でも不定詞でも良いということです。

★しかし、finish や enjoy の後ろに **～すること**、となる言葉をつける場合は**動名詞**しか付けられません

彼女はやっと宿題を**やり(することを)**終えました。
She finished **doing** her homework at last.

ひろしは昨日アメリカの音楽を**聴いて(聴くことを)**楽しんだ。
Hiroshi enjoyed **listening** to American music yesterday.

これとは逆に**不定詞しか付けられないもの**もあります。

私はエベレストに登りたいです。

○ I want **to climb** Mt Everest.

× I want **climbing** Mt Everest.

また、stop のように、動名詞と不定詞のどちらかを付けることによって、その意味が変わってしまうものもあります。

彼はタバコを**吸うのを**やめました。 He stopped **smoking**.

彼はタバコを**吸うために**立ち止まりました。 He stopped **to smoke**.

●まとめてみよう！

1. 「～すること」という意味で動名詞だけを後ろに付けられる動詞

enjoy finish stop …など

2. 「～すること」という意味で不定詞だけを後ろに付けられる動詞

want hope wish …など

3. 「～すること」という意味で動名詞と不定詞の両方を後ろに付けられる動詞

like start begin …など

これ以外にもありますが、中学レベルでよく出てくるのは以上のものですので、これくらいのもは必ず覚えておきましょう。

動名詞の確認テスト

●次の()内に入る適切な単語を1つ書きなさい。

問題 1. 彼はその小さな車を運転したかった。

He wanted () the small car.

drive driving to drive drove

問題 2. トムは彼女にまた会うことを楽しみにしている。

Tom is looking forward to () her again.

see sees saw seeing

問題3. あなたはタバコはやめたほうがいいですよ。

You should stop ().

smoking to smoke smoke to smaking

問題4. 彼女はその時なぜ笑っていたのですか。

Why was she () at that time?

to laugh laughing to laughing laughed

問題5. 我々はその動物を救おうとした。

We tried () the animal.

save saving to save to saving

解答

問題 1. 彼はその小さな車を運転したかった。

He wanted (to drive) the small car.

drive driving to drive drove

問題 2. トムは彼女にまた会うことを楽しみにしている。

Tom is looking forward to (seeing) her again.

see sees saw seeing

問題3. あなたはタバコはやめたほうがいいですよ。

You should stop (smoking).

smoking to smoke smoke to smaking

問題4. 彼女はその時なぜ笑っていたのですか。

Why was she (laughing) at that time?

to laugh laughing to laughing laughed

問題5. 我々はその動物を救おうとした。

We tried (to save) the animal.

save saving to save to saving

16 It~for to の文

It~for to 使い方

これは [不定詞](#) を含む文ですが、重要な文型ですので、しっかり覚えましょう。

私にとってその橋を渡るのはとてもおもしろい。

It is very interesting for me to cross the bridge.

この文型では It は日本語にできません。for の後ろには人をあらわす単語がよく使われ、to の後ろは**動詞の原形**になります。また「for + 人」のところを省略した形のものもよく出てきます。

※ for me や for us となっている場合は、日本語に訳す場合「私(私たち)にとって」の部分は無い方が、より日本語らしくなるので、省略されることもよくあります。

フランス料理を作るのはむずかしいです。

It is difficult to cook French food.

It の部分を取って次のように言い換えることもできます。

To cook French food is difficult.

Cooking French food is difficult.

過去形の文にするには、be 動詞を過去形にします。もちろん疑問文の時には **be 動詞** を先頭におきましょう。

あなたにとってスキーをすることは簡単でしたか。

Was it easy for you to ski?

その他

次のようなものも書き換えの問題としてよく出てきますので、しっかり覚えましょう。

too~to... あまりにも~なので...できない

彼は**あまりにも忙しいので**毎日昼食が**食べられません**。

He is **too busy to eat** lunch every day.

これを so~that ... の文に書き換えると次のようになります。

He is **so busy that** he **can't** eat lunch every day.

so~that ...だけでは「~できない」という意味がないので **can't** を使わなければならぬことに注意しましょう。

~ enough toするには十分に~

その女の人はそのドレスを**買えるほどの金持ち**です。

The woman is **rich enough to buy** the dress.

※「十分に金持ちだ」と考えて rich enough を enough rich としてしまう人がいますので、この言い方にも慣れるようにして下さいね。

日本語らしくするために、「...するには十分に~」のところがうまく考えてみましょう。

これもまた so~that ...を使って書き換えることができます。

The woman is **so rich that** she **can** buy the dress.

後ろの she は 最初の The woman のことですよ。

17 現在完了形

現在完了形とは

現在完了は継続や完了、経験をあらわすために使われる言葉で、英語では次のように書きます。

have(has) + 動詞の過去分詞

現在完了では、この have は「持っている」という意味ではありませんので、気を付けましょう。

過去分詞とは、動詞が変化をする時の1つの決まった形のもので、動詞は「原形・過去・過去分詞」のように変化することを覚えておきましょう。

継続を表す現在完了

現在完了の**継続**とは、過去のある時点から、ちょうど今現在まで続いている状態を言います。継続ですから、意味は「ずっと～している」「ずっと～である」のようになります。

※ この用法では since と for の使い分けに注意して下さい。

彼は先週からずっと病気です。

He **has been** sick since last week.

私は20年間カナダに**住んでいる**。

I **have lived** in Canada for 20 years.

「ずっと」という日本語がなくても、「20年前から今まで」ということをあらわしているのが現在完了を使います。したがって、次のような進行形の英文にするのは**まちがいで**す。

× I am living in Canada for 20 years.

つまり、for 20 years がなければ良いのですが、定住するという意味で live を使う場合は進行形よりも現在形で使われるのが普通です。

My sister **lives** in Hokkaido.

私の姉(妹)は北海道に住んでいます。

完了を表す現在完了

完了とは、過去のある時点に始まった動作などが、すでに完了したことをあらわすもので、「～したところだ」「～してしまった」などのような意味になります。

彼女はちょうどその仕事を**終えた**ところです。

She **has** just **finished** the work.

山田先生はオーストラリアに**行ってしまいました**。

Mr. Yamada **has gone** to Australia.

just(ちょうど), already(すでに)などの単語が have(has) と **動詞の過去分詞**の間に入るがよくあります。

これらは現在完了を強調する言葉になり、非常によく使われるので、いつでもまとめて使えるようにしておいて下さい。

経験を表す現在完了

経験とは、過去のある時点から現在に至るまでの経験(そのまま)をあらわし、「～したことがある」のような意味になります。

私は宇宙人と**話をしたことがあります**。

I **have talked** with an alien.

彼の父親は月に**行ったことがあります**。

His father **has been** to the moon.

have been to ～ には「～へ行ったことがある」の意味と「～へ行ってきたところだ」の意味になることがあります。これは前後の文脈などで判断することになります。

疑問文の作り方

現在完了の疑問文は have(has) を主語の前におきます。

They **have** stayed in China for five months.

↓

彼らは中国に5ヶ月間滞在していますか。

Have they stayed in China for five months?

↓

通常の答え方

Yes, they have. No, they have not(haven't).

彼女はその本をもう読みましたか。

Has she read the book yet?

Yes, she has. No, she has not(hasn't).

yet は疑問文では「もう」という意味になります。

否定文の作り方

現在完了の否定文は have(has) の後ろに not を付けます。

彼はまだ宿題をしていません。

He **has not(hasn't)** done his homework yet.

yet は、否定文では「まだ」という意味になります。

否定文では never(一度も～ない) などの否定語を付けて表す場合もあります。

ぼくはUFOを**一度も**見たことが**ありません**。

I have **never** seen an UFO.

特に never は否定を強調する時に使うということです。

ところで UFO は、英語ではユーフォーではなく、そのまま、ユーエフオーと発音しますよ。

現在完了形の確認テスト

●次の()に入る最も適切な語句を選んで下さい。

問題 1. 私たちは 1998 年からずっとイギリスに住んでいます。

We have lived in England () 1998.

in, for, from, since

問題 2. あなたはいつこの知らせを聞いたのですか。

When () this news?

have you heard, have you listened, did you hear, you heard

問題 3. 彼は鹿児島に行ってきたところです。

He () to Kagoshima.

goes, went, has been, has gone

問題 4. そのバスはまだここに到着していません。

The bus () here yet.

has never arrived, hasn't arrived, have never arrived, haven't arrived

問題 5. トムはもうその本を読みましたか。

() the book yet?

Has Tom readed, Has Tom read, Has Tom reads, Have Tom reads

解答と解説

第1問

私たちは 1998 年からイギリスに住んでいます。

We have lived in England () 1998.

答え We have lived in England (**since**) 1998.

「～から」は「～以来」と考え、since を選びます。

from はどこかの場所「から」という意味で使います。

in は「1998 年に」という意味になり、この場合は現在完了形では使えません。

for は期間を表します。

第2問

あなたはいつこの知らせを聞いたのですか。

When () this news?

答え When (**did you hear**) this news?

「いつ」と、はっきり過去のある時点を聞いているので、現在完了形は使えません。現在完了は過去のある時点から現在までの状態を表すときに使います。

「聞く」という一般動詞のある疑問文ですから主語 you の前に did を書きます。hear の過去形と過去分詞形は同じ heard になります。

第3問

彼は鹿児島に行ってきたところです。

He () to Kagoshima.

答え He (**has been**) to Kagoshima.

「行ってきた」というのは、現在は帰ってきているということですから、過去形は使えません。

has gone は「行ってしまって、今はここにはいない」という意味で使われることが多いので、has been が最も適していると思われます。

第4問

そのバスはまだここに到着していません。

The bus () here yet.

答え The bus (**hasn't arrived**) here yet.

主語が単数で英文が否定形になっているので hasn't を選びます。never を使うと「一度も着いたことがない」などのようになるのでここでは不適切です。

第5問

トムはもうその本を読みましたか。

() the book yet?

答え (**Has Tom read**) the book yet?

主語が Tom と I、you 以外の単数なので Has を選びます。

また read の過去分詞形は原形・過去形と同じですが発音は「レッド」です。したがって s を付けたり ed を付けたりしてはいけません。

18 受動態

受動態とは

他の人や物から動作を受けるときの表現で「～される」のように訳されます。そして、受動態は「受け身」と言われることもあるので、少し注意しておいて下さい。

英文の形は<be 動詞＋動詞の過去分詞>となります。

英語はカナダで**使われています**。

English **is used** in Canada.

受動態が過去形になる場合は **be 動詞**を過去形にし、「～された」というような意味になります。

あの建物は去年**こわされた**。

That building **was broken** last year.

受動態には「～に(よって)」というように意味で **by** がよく使われます。

これらの歌は若い人たちに**(よって)**愛されています。

These songs are loved **by** young people.

未来形の受動態は <will be 動詞の過去分詞>の形で「～されるでしょう」のような意味になります。

たくさんの人々がこの場所を訪れるでしょう。

Many people will visit this place.



この場所はたくさんの人々に訪れられるでしょう。

This place **will be visited** by many people.

受動の疑問文と否定文

受動態の疑問文は be 動詞が使われているので、be 動詞を主語の前に持ってくれば出来上がりです。

これらの写真はニューヨークで撮られました。

These pictures **were** taken in New York.



これらの写真はニューヨークで撮られましたか。

Were these pictures taken in New York?

未来形では will だけを主語の前にもってきます。be 動詞よりも will が優先するということですので注意しましょう。

This place **will be visited** by many people.



Will this place **be visited** by many people?

受動態の否定文は be 動詞が使われているので、be 動詞の後ろに not を書きます。もちろん短縮形も使うことができます。

あれらの写真は東京で撮られたもの**ではありません**。

Those pictures **were not (weren't)** taken in Tokyo.

特別な受動態

受動態の形をしていますが、受動態の意味にはならず、通常の文のように扱われているものもあります。

日本語に訳す時は特に気を付けて下さい。

僕は外国の文化**に興味があります**。

I **am interested in** foreign cultures.

(be 動詞 + interested in ~ ~に興味がある)と覚えましょう。

私たちはその知らせ**に驚いた**。

We **were surprised at** the news.

(be 動詞 + surprised at ~ ~に驚く)と覚えましょう。news はテレビなどのニュースばかりとは限りません。

「~に(よって)」の部分に by 以外の単語が使われる場合もあり、これも上記のもの

と同様、連語として覚えておくと役立ちます。

その歌手は世界中の人々に知られています。

The singer is known to people in the world.

そのドアは木で作られています。

The door is made of wood.

wood は木と言っても、家などを立てたりするために加工された木材のことで、木が切り倒された後のものです。

受動態の確認テスト

◆次の()に適する語句をそれぞれ選びなさい。

問題1. 日本語はこの国でも使われていた。

Japanese () in this country.

used is used was use was used

問題2. 牛乳はこの店では売られていません。

Milk () at this store.

isn't sold isn't sold isn't sell isn't selling

問題3. ここでは何が作られていますか。

() here?

What are you made What made is What is made

Is what made was interested by

問題4. 私は中国の歴史に興味があります。

I () Chinese history.

was interested to am interesting in am interested in was interested by

問題5. 有名な作家がこの詩を書きました。

A famous writer () this poem.

wrote written wrote by was writed

解答と解説

第1問

日本語はこの国でも使われていた。

Japanese () in this country.

答え Japanese (**was used**) in this country.

過去形の受動態なので be 動詞は過去形にします。もちろんその後ろの動詞は過去分詞形にしなければなりませんね。

use の過去分詞は used です。

use - used - used と変化します。

第2問

牛乳はこの店では売られていません。

Milk () at this store.

答え Milk (**isn't sold**) at this store.

現在形で否定文の受動態です。

sell (売る) の過去分詞形は sold です。

sell - sold - sold という変化をする動詞です。

第3問

ここでは何が作られていますか。

() here?

答え (**What is made**) here?

受動態の疑問文で、主語が what なので、その後ろは is made とします。what はい

つも単数と考えるので be 動詞は is になります。

make - made - made

第4問

私は中国の歴史に興味があります。

I () Chinese history.

答え I (**am interested in**) Chinese history.

「～に興味がある」be interested in という連語を覚えましょう。

主語が人間なので interesting ではなく interested となっているものを選びます。

また、形は受動態ですが、日本語では普通の受動態のような訳のしかたはしません。

逆に、これを受動態のような訳にしようとしても、ちょっとできそうにありませんよね。

第5問

有名な作家がこの詩を書きました。

A famous writer () this poem.

答え A famous writer (**wrote**) this poem.

受動態の文章ではなく、ふつうの過去形の文章です。したがって答えは write の過去形である wrote にします。

受動態のところで出てくる問題でも、このようなひっかけ問題が出てくることもあるので気をつけましょう。

19 関係代名詞

関係代名詞とは

関係代名詞とは、文と文をつなぐ **接続詞** の役目を持ち、またその直前にある単語（名詞）の説明をする代名詞の役目も持つ単語なのです。

関係代名詞となる単語は下の表のようなものがあります。これらの単語が関係代名詞として使われる場合は、もとの単語の意味にはならないので注意しましょう。

例えば who は「だれ」という意味があり、また that は「あれは」という意味がありますが、ここではそのように訳してはいけません。

	主格(～は、が)	所有格(～の)	目的格(～を、に)
人のみ	who	whose	whom
人以外(物や動物)	which	whose	which
人でも物でも全て	that	なし	that

★それぞれの例で考えてみましょう。

●主格を使う場合(主語と考える)

私には**おじさん**がいます。 **そのおじさん**は数学の教師です。

I have **an uncle**. **The uncle** is a math teacher.

前の文の「おじさん」のことを、後ろの文では「そのおじさん」として説明をしています。

この二つの文を接続詞を使って一つの文にすると、次のようになります。

I have an uncle **and** the uncle is a math teacher.

下線部の the uncle は **and** のすぐ前の **uncle** のことで、**and the uncle** の部分は「そのおじさん**は**」という意味になるので、**and the uncle** の部分を全て**人**を表す関係代名詞の **who** に置き換えます。

I have an uncle **who** is a math teacher.

この英文を日本文にすると次のようにすることができます。

私には数学の教師であるおじさんがいます。

who のすぐ前にある言葉(この場合は uncle)を**先行詞**(せんこうし)と言います。この先行詞が**人**なのか、それとも**人以外**なのかによってどの関係代名詞を使うかが決まります。

He has a bird. **It** speaks English.

↓

He has a bird **which** speaks English.

先行詞が鳥(人以外)で、関係代名詞の後にある文の主語の役目をするようになるので、主格の関係代名詞である **which** を使います。

彼は鳥を飼っています。**その鳥は**英語を話します。

↓

彼は英語を話す鳥を飼っています。

この文の先行詞は鳥なので、関係代名詞は **which** を使わなければなりません。

●所有格を使う場合

I saw an animal. **Its** tail was very long.

↓

I saw an animal **whose** tail was very long.

Its は「そのの」となり、所有格になるので関係代名詞は **whose** を使います。whose はその前の先行詞である animal を説明していて、「その動物の」という意味をもつこととなります。

私は動物を見た。**その動物の**シッポはとても長かった。

↓

私はシッポがとても長い動物を見た。

●目的格を使う場合

This is the picture. A famous artist draw **it**.

これがその絵です。有名な芸術家が**それを**描きました。

後ろの英文の **it** は関係代名詞の **which** になったので次のように一つの英文にした時にはなくなることに注意しましょう。

This is the picture **which** a famous artist draw.
これは有名な芸術家が描いた絵です。

ここでの **which** は「その絵を」という意味になっています。

She was a lady. Many people loved **her** very much.
彼女は女性でした。多くの人が彼女をととても愛していました。



She was a lady **whom** many people loved very much.
彼女は多くの人にととても愛した女性でした。

上記のような例文にある **who, which, whom** は全て **that** に変えることができます。
that は実際の会話上でよく使われています。

※**that** は **who, which, whom** の代りに使えるのなら、「いつも **that** を使えば楽だ」と言う人もいますが、テストなどでは全てを分かっていないと問題が解けないこともありますし、会話でも **that, who, which, whom** を使い分けて話す人もいるのですから、やはりこれらを柔軟に使えるようにしておくことが大事だと思います。

現在、公立中学では **whose** と **whom** は教科書から外されています。したがって公立高校に進学する人たちは、これらの学習はあまり必要ないかもしれません。

主として **that** を使う場合

関係代名詞の中で **that** は所有格以外であればどんな場合でも使えてとても便利ですが、先行詞に **all, the only, the first, the last** や最上級の形容詞の言葉が付いている時、また、先行詞が人と人以外の両方が使われている時は、**that** を使うのが普通です。

Please tell me **all that** you know.
あなたが知っている全てを私に教えて下さい。

Kenta was **the only** student **that** could answer the question.

ケンタはその質問に答えることができた、ただ一人の生徒だった。

The man and the dog that are walking in the park came to this town this year.
公園を散歩しているその男の人とその犬は去年この町に来た。

that が代わりに使える場合であっても、who や which などを使うのが自然な場合もあるのです、実際の会話でも区別して使えるように今から練習しておいて下さい。

関係代名詞の省略

目的格の関係代名詞である which, whom, that は省略することができます。

The book which I read yesterday is very interesting.



The book I read yesterday is very interesting.
きのう僕が読んだ本はとてもおもしろいです。

Do you know the woman whom I met here yesterday.



Do you know the woman I met here yesterday.
君は僕が昨日ここで会った女性を知っていますか。

関係代名詞を省略するという事は、文章を少しでも短くするという事ですから、特に会話ではこのように省略されることが多いでしょう。

関係代名詞の確認テスト

●次の()に入る最も適切な関係代名詞を考えて下さい。ただし、that 以外の関係代名詞が使える場合は that は使わないこと。

問題 1. ブラウンさんは20個の部屋がある家を持っています。

Mr. Brown has a house () has 20 rooms.

問題 2. ぼくはお兄さんが有名なミュージシャンの男の子を知っています。

I know a boy () brother is a famous musician.

問題 3. その男の人は持っているだけのお金を全て私にくれました。

The man gave me all the money () he had.

問題 4. あなたはその病院で働いている友達がありますか。

Do you have a friend () works in the hospital?

問題 5. 彼女はあなたが昨年ここで会った女性ではありません。

She isn't the woman () you met here last year.

解答と解説

第1問

ブラウンさんは20個の部屋がある家を持っています。

Mr. Brown has a house () has 20 rooms.

答え Mr. Brown has a house (**which**) has 20 rooms.

関係代名詞を置く前の単語(先行詞)が house(家)で、人以外のものになっているので who whose whom のどれも使えません。したがって which か that を使うことになりませんが、問題が that 以外の関係代名詞を使える場合は that 以外の関係代名詞を使うように指示をしているので which を正解とします。

第2問

ぼくはお兄さんが有名なミュージシャンの男の子を知っています。

I know a boy () brother is a famous musician.

答え I know a boy (**whose**) brother is a famous musician.

関係代名詞のすぐ後に来る単語 brother は、その後ろの残りの文章の主語になっていて、whose もまた、その前の boy のことを言い換えています。そうすると、この whose は「その少年の」という意味になるので whose brother は「その少年のお兄さんは」という意味になります。

この whose を who にすると「その少年はお兄さんは」となっておかしな意味になりますよね。

第3問

その男の人は持っているだけのお金を全て私にくれました。

The man gave me all the money () he had.

答え The man gave me all the money (**that**) he had.

関係代名詞の前に来る語句である先行詞「all the money」の中に all という単語が

入っているので、優先的に that が使われます。which とすることも可能ですが、that のほうが自然でしょう。間違えた方は、特に that が使われる場合を、もう一度よく確認しておいてください。

第4問

あなたはその病院で働いている友達がありますか。

Do you have a friend () works in the hospital?

答え Do you have a friend (who) works in the hospital?

関係代名詞 の前の単語 friend が人を表しています。そして関係代名詞のすぐ後に来る単語 works は、その後ろの残りの文章の動詞となっているので、関係代名詞は「～は」とするために、主格である who としなければなりません。

who works in the hospital は「その友達はその病院で働いている」となります。

もちろん that を使うこともできます。

第5問

彼女はあなたが昨年ここで会った女性ではありません。

She isn't the woman () you met here last year.

答え She isn't the woman (whom) you met here last year.

関係代名詞 の前の単語 woman は人ですから、who whose whom のどれかを使うことになりますが、関係代名詞の入る後ろの単語 you がその後ろの文の主語になっています。

who にすると、主語が2つ続くことになるので who は使えません。

whose にすると、「その女性のあなたは」となり、なんか使えそうな気もしますが、変な日本語にだまされてはいけません。

whom にすると「その女性に」となります。なんか違うような気がしますか？でもこれがやっぱり正解です。

もとは以下の2つの文があったと考えます。

She isn't the woman.

彼女はその女性ではありません。

You met **her** here last year.
あなたは**彼女に**昨年ここで会いました。

上の赤で書いた2つの単語が同じ人を表しています。そこで後ろの **her** は目的格「**～に**」になりますから、それをとりあえず次のように順番を入れ替えます。

her you met here last year.

そして、この **her** を関係代名詞にするには、目的格「**～に**」の関係代名詞 **whom** にすることしかできないとわかります。

whom you met here last year.

したがって、全部をつなげると上の答えのようになるということです。むずかしいですよ。でも、がんばって下さい。この英文を何度も暗唱すると違和感がだんだんなくなってきます。

このように少しむずかしい英文は、何度も暗唱していくことで自分のものになるはずですよ。

20 分詞の種類と使い方

現在分詞

分詞とは、動詞がある形に変化したものを言います。

現在分詞とは動詞に ing が付いたもので、進行形の時に使われる studying や running, sleeping などのことです。

現在分詞は、もちろん be 動詞と並べて使えば進行形としても使われますが、現在分詞1つでは形容詞の役割をするものとして使われます。

形容詞とは、日本語で「楽しい」「おもしろい」「大きい」など、言い切りの形(終止形)で最後に「い」が付く言葉でしたね。

例えば「美しい鳥」は a beautiful bird です。

分詞は、この beautiful のように使えるので、これを flying 「飛んでいる」に変えると a flying bird 「飛んでいる鳥」というようにできるということです。

つまり、現在分詞の意味は「～している・・・」のようになるので、次のように言えるということです。

a sleeping animal 眠っている動物

working people 働いている人たち

上の例文では、現在分詞は修飾される語の前に書かれていますが、次のように修飾される語の後に来る場合もあります。

The people working there are all Chinese.
そこで働いている人たちはみんな中国人です。

The animal sleeping in the box is not a cat.
箱の中で眠っている動物は猫ではありません。

このように、他の語(ここでは in the box)といっしょに名詞(ここでは animal)を修飾する場合は修飾される語の後にきます。

この場合の現在分詞は**関係代名詞とそれに続く be 動詞を省略したもの**とも言えます。

The animal (which is) **sleeping** in the box is not a cat.

カッコの中の言葉を使うと関係代名詞のある文章になるわけですね。

過去分詞

分詞には、現在分詞だけではなく、過去分詞と言われるものもあります。

一般的に動詞は、現在形、過去形、過去分詞形の変化があり、過去分詞形は現在完了や受動態で使われています。

意味は「～された・・・」「～した・・・」のようになり、現在分詞と同様に、形容詞の役割をします。

a **broken** car こわれた自動車
(ア・ブロークン・カー)

a **stolen** watch 盗まれた時計
(ア・ストールン・ウォッチ)

上の例文では、過去分詞は**修飾される語の前**に書かれていますが、現在分詞と同じ様に**修飾される語の後**に来る場合もあります。

The car **broken** in the accident was very expensive.
その事故でこわれた車はとても高かった。

このように、**他の語**(ここでは in the accident)**といっしょに名詞**(ここでは car)**を修飾する場合は修飾される語の後に**きます。

過去分詞もまた関係代名詞とそれに続く be 動詞を省略したものとも言えます。

The car (which was) **broken** in the accident was very expensive.

分詞の確認テスト

●次の()に入る適切な語句をそれぞれ選びなさい。

問題 1. 警察は盗まれた車を見つけた。

The police found ().

the car stolen, stolen the car the stolen car, car the stolen

問題 2. ナンシーと話をしているその男の人はだれですか。

Who is () with Nancy?

the man talking the talking man talking the man man the talking

問題 3. 私はあの歌っている子供を知っています。

I know ().

that child singing that singing child child that singing singing that child

問題 4. 彼はイタリア製のカバンを持っていますか。

Does he have a () Italy?

made in bag made bag in bag made in bag in made

問題 5. 木の下にすわっている女の子は私の妹ではありません。

() under the tree isn't my sister.

Sitting the girl Girl the sitting The sitting girl The girl sitting

解答と解説

第1問

警察は盗まれた車を見つけた。

The police found ().

答え The police found (**the stolen car**).

stolen は steal (盗む)の過去分詞形です。「盗まれた車」の中で「車」にかかる言葉は、「盗まれた」だけですから、car の前に the stolen がきます。

the car stolen とするためには、the car stolen **in Japan** 「日本で盗まれた車」のように何か他の単語が stolen にくっ付かないとできません。

第2問

ナンシーと話をしているその男の人はだれですか。

Who is () with Nancy?

答え Who is (**the man talking**) with Nancy?

the man「その男の人」にかかる言葉は talking 「話している」だけではなく with Nancy 「ナンシーと」もいっしょになっています。

まとめると talking with Nancy 「ナンシーと話している」が the man にかかっていることとなりますから、the talking man のような形にはならないのです。

少しずつ理解していきましょう。

第3問

私はあの歌っている子供を知っています。

I know ().

答え I know (**that singing child**).

「子供」にかかる言葉は「歌っている」だけです。「あの(that)」や

「その(the)」 「この(this)」のような言葉があってもそれは関係ありません。無視してくだ

さい。

したがって child にかかるのは singing だけですから、singing は child の前に来ると
いうことです。

第4問

彼はイタリア製のカバンを持っていますか。

Does he have a () Italy?

答え Does he have a (**bag made in**) Italy?

「カバン」にかかる言葉は「作られた」だけではなく、「イタリアで」もいっしょにかかっ
ています。要するに「イタリアで作られた(made in Italy)」が「カバン(a bag)」にかかるので
made は bag の後ろに来るのです。

in Italy がなければ a made bag になるのですが、それでは「作られたカバン」となっ
て、なんか変ですよ。だって、カバンは当然、人間に作られているのですから・・・
「彼は作られたカバンを持っていますか」というのは不自然です。

第5問

木の下にすわっている女の子は私の妹ではありません。

() under the tree isn't my sister.

答え (**The girl sitting**) under the tree isn't my sister.

上の4つの解説で少しずつ分かってきましたか。要は sitting が girl の前に来るか
後ろに来るかということです。ね。「女の子」にかかるのは「すわっている」だけではな
く、「木の下に」という言葉もいっしょになって「女の子」にかかっているのですから、
sitting は girl の後ろに来るのです。

21 間接疑問文

間接疑問文とは

間接疑問文とは、元々2つの文がくっ付き1つの文になってしまった疑問文のことと考えておけば良いのではないかと思います。

例えば、次のような英文で考えてみましょう。

1. Do you know?

あなたは知っていますか。

2. Where does he live?

彼はどこに住んでいますか。

この1と2の英文が1つになると、下記のような英文になります。

Do you know **where he lives**?

あなたは彼がどこに住んでいるか知っていますか。

where he lives の部分は、通常の疑問文なら上のような **where does he live** 形になりますが、その前に **Do you know** の文があるため、このような肯定文の形になります。

また、疑問文といっても疑問文にならない場合もあります。

I don't know. What is this?

私は知りません。これは何ですか。



I don't know what this is.

私はこれが何か知りません。

× I don't know what **is this**.

次の英文と比べてみましょう。

I wonder what is in the box.

その箱の中には何が入っているのだろうか。

what より後ろの語順は、× **what in the box is** としないように注意しましょう。これは **what** が主語で **in the box** は主語ではないからです。

このように言うことで、これを聞いた相手が何かを答えてくれるかもしれません。

直接に質問をしているわけではないのですが、このような意味でも疑問文と言えるかも知れませんね。

間接疑問文という言葉が無理に覚える必要はありませんが、学校の授業などでは、英語の先生によっては多用することがありえるので、余裕のある方は覚えてみてください。

間接疑問文の確認テスト

● 次の()に入る適切な語句を選びなさい。

問題 1. 彼はこの床の下に何があるのか知っているのですか。

Does he know ()?

what under is this floor what is under this floor

what floor is this under what under the floor is

問題 2. 私はケンタがどこで柔道の練習をしているか知りません。

I don't know ().

where he is practices judo where he does practice judo

where he practices judo where does he practice judo

問題 3. 彼女はなぜ大声で叫んでいたのだろうか。

I wonder ().

why she was shouting why was she shouting

why is she shouting why she is shouting

問題 4. あなたはいつアメリカへ出発するのか教えてください。

Please tell me () leave for America.

when will you when you are when you wil when do you

問題 5. ぼくは彼がそれをどうやってやっていたか知っていた。

I knew ().

how he did doing it how did he doing it

how was he doing it how he was doing it

解答と解説

第1問

彼はこの床の下に何があるのか知っているのですか。

Does he know ()?

答え Does he know (**what is under this floor**)?

what is under this floor「この床の下には何がありますか」の英文だけを見てみると what がその主語になっているので、これだけの疑問文でもあっても、また、間接疑問文にしてもその順番は変わりません。

第2問

私はケンタがどこで柔道の練習をしているか知りません。

I don't know ().

答え I don't know (**where he practices judo**).

「彼はどこで柔道の練習をしますか。」の疑問文は where does he practice judo? ですが、これを I don't know の後ろにもってくると、通常の疑問文の形にしておくことはできません。

そこでまず、疑問文に必要な **does** を取ります。

次に、主語が **he** なので practice という動詞に **s** をつける必要があります。これは 一般動詞 の決まりでしたね。覚えていますか。

第3問

彼女はなぜ大声で叫んでいたのだろうか。

I wonder ().

答え I wonder (**why she was shouting**).

第4問

あなたはいつアメリカへ出発するのか教えてください。

Please tell me () leave for America.

答え Please tell me (**when you will**) leave for America.

when の後ろの文の主語が you なので疑問文の形にはできません。したがって you will leave と通常の未来形の形にします。

第5問

ぼくは彼がそれをどうやってやっていたか知っていた。

I knew ().

答え I knew (**how he was doing it**).

これも how の後ろの文の主語が he なので、疑問文の形にはできません。「やっていた」は「していた」ですから「する(do)」の過去進行形にします。

22 付加疑問文

付加疑問文とは

付加疑問文とは「～ですよ」とか、「～ではないですよ」のように、相手に軽く念を押したり、同意を求めたりする時に使う疑問文の一つです。

肯定文には否定の形の付加疑問を付けます。

He is a good man.

彼はいい人だ。

先頭の部分が **He is** …の肯定の形で、動詞が **be 動詞** となっているので、付加疑問のところは **is** の否定形である **isn't** とします。

また、**代名詞を使う** 必要があり、主語が代名詞の **he** なので、そのまま **he** とし、**isn't he** として、最後に付けられればできあがりです。

He is a good man, **isn't he**?

彼はいい人だよ。

下線部の **be 動詞** が過去形なら最後の部分は **wasn't he** となります。

He was a good man, **wasn't he**?

彼はいい人**だった**。

動詞の部分が**一般動詞**の場合は次のようになります。

He **plays** tennis, **doesn't** he?

彼はテニスをしますよね。

You **like** dogs very much, **don't** you?

あなたは犬がたいへん好きですよ。

それでは **be 動詞** と **一般動詞** が同時に使われている進行形の場合はどうなるでしょうか。

She was calling her mother then.
彼女はその時母親に電話をしていました。

be 動詞と一般動詞が同時に使われているような場合は **be 動詞が優先**されるので次のようになります。

She **was** calling her mother then, **wasn't** she?
彼女はその時母親に電話をしていましたよね。

主語が次のような場合はどうなるでしょうか。

The singer came to Kagoshima last year.
その歌手は去年鹿児島に来ました。

このような場合、主語が代名詞になっていないので、付加疑問の部分では、その主語にあわせた代名詞を考えなければなりません。

The singer が男性であれば **he** に、女性であれば **she** にします。また、動詞は一般動詞の過去形になっているので、**didn't** とします。



Singer came to Kagoshima last year, **didn't he (she)?**
その歌手は去年鹿児島に来ましたよね。

主語が複数で代名詞になっていなければ、付加疑問のところは上記と同じように複数形の代名詞にしなければなりません。

Hiroko and Ken love each other, don't **they**?
ヒロコとケンはお互い愛し合っているのですよね。

付加疑問になるのは動詞ばかりではありません。

You **can** speak French very well, **can't** you? (助動詞の場合)
あなたはフランス語をととても上手に話せますよね。

They **have** seen a UFO, **haven't** they? (現在完了形の場合)
彼らはUFOを見たことがあるのですよね。

否定文には肯定の形の付加疑問を付けます。

Megumi **isn't** a nurse, **is** she?

恵さんは看護婦ではないのですよね。

You **won't** marry her, **will** you?

あなたは彼女と結婚するつもりはないのですよね。

特別な付加疑問文

その他、命令文となっているものでも、付加疑問をつけることで丁寧(ていねい)にお願いすることができます。

命令文の場合は **will you** を付けます。

Carry this desku, **will you**?

この机を運んでくれませんか。

否定の命令文には **will you** しか付けられません。

Don't touch the ring, **will you**?

その指輪には触らないでくださいね。

付加疑問文にしなければ **please** を付ければ優しい言い方になります。

Let's の文では **shall we** を付けます。

Let's go fishing, **shall we**?

魚釣りに出かけましょうよ。

付加疑問文の確認テスト

●次の()に入る適切な語句を選びなさい。

問題 1. あなたがこのケーキを作ったのですよね。

You made this cake, ()?

do you, did you, don't you, didn't you

問題 2. メグはオーストラリアの出身ではないですよね。

Meg isn't from Australia, ()?

is Meg, isn't Meg, is she, isn't she

問題 3. 君のお父さんはよく魚釣りに行くよね。

Your father often goes fishing, ()?

does he, doesn't he, do you, don't you

問題 4. その鳥は以前に卵を産んだことがあるのですよね。

The bird has laid some eggs before, ()?

does it, doesn't it, has it, hasn't it

問題 5. スキーに行きましょうよ。

Let's go skiing, ()?

shall we, shall I, will you, shall you

解答と解説

第1問

あなたがこのケーキを作ったのですよね。

You made this cake, ()?

答え You made this cake, (**didn't you**)?

made は一般動詞 make の過去形です。したがって、後尾には do の過去の否定である didn't を付けます。

第2問

メグはオーストラリアの出身ではないのですよね。

Meg isn't from Australia, ()?

答え Meg isn't from Australia, (**is she**)?

動詞の部分が be 動詞の否定形 isn't になっているので、付加疑問のところは、その反対の is になります。また、主語が Meg で女性なので代名詞である she を使い is she とします。

第3問

君のお父さんはよく魚釣りに行くよね。

Your father often goes fishing, ()?

答え Your father often goes fishing, (**doesn't he**)?

動詞は goes で一般動詞で go に s が付いた形になっています。したがって付加疑問文のところは do に s を付け、それを否定の形にした doesn't にします。

また、主語はもちろん Your だけではなく Your father なので、その代名詞である he を付加疑問文ところに使います。

よく Your を You と勘違いする人がいますので気をつけましょう。

第4問

その鳥は以前に卵を産んだことがあるのですよね。

The bird has laid some eggs before, ()?

答え The bird has laid some eggs before, (**hasn't it**)?

laid は「(卵を)産む」という一般動詞 lay の過去形です。また、動詞の部分は has laid という現在完了形になっているので、付加疑問文のところは has の否定形である hasn't を使います。

主語が The bird で、人以外の単数形なので、その代名詞である it を使います。したがって、付加疑問の部分は hasn't it にしなければなりません。

第5問

スキーに行きましょうよ。

Let's go skiing, ()?

答え Let's go skiing, (**shall we**)?

Let's のある文は、呼びかけた人を含め、それを聞いた人たち「みんな」のことを言っているのですから、付加疑問では、必ず shall we を使うことを覚えておきましょう。will you は命令文で使います。

23 英語を使って自分のことを紹介してみよう！

基本的な英語の自己紹介

あなたは英語で簡単な自己紹介ができますか？これがスムーズにできれば、それによって基本的な英文法を身に付けたことになります。

英語を使って会話をするということは、必ずどこかで自己紹介をする機会があるはずだから、その時のためにも基本的な言い方を覚えておけば大いに役立つと思います。

スルスルと言うことができれば、英語ができる人という印象を十分に与えることができます。

★次の ___ 部に適切な英単語を入れて自己紹介をしてみよう。

1. 私の名前は _____ です。

My name _____.

2. 私のことは _____ と呼んでください。

Please _____.

3. 私は _____ 才です。

I _____ years old .

4. 私は _____ に住んでいます。

I _____ in _____.

5. 私は _____ 中学校に通っています。

I _____ junior high school .

6. 私は _____ 人家族です。

There _____ in my family.

7. 私は _____ が好きです。

I _____.

8. でも、_____ は好きではありません。

But I _____.

9. 私は _____ を飼っています。

I _____.

10. 私の夢は将来 _____ になることです。

My dream is _____ in the future.

回答例

1. My name is **Hiroaki Nihon**.

例えば、「日本 弘明」という氏名なら「弘明 日本」という順番にするのが普通です。

氏名の紹介では I am Hiroaki Nihon. と言うこともありますね。

2. Please **call me Hiro**.

これで命令文の作り方を覚えます。命令文なので動詞の原形から始めます。

Please は丁寧をお願いする時の言葉ですから、付けるか付けないかはあなた次第ですが、もちろん付けたほうが無難です。

3. I **am fifteen** years old.

自己紹介をしている時には何の数字かははっきりしているので、years old は必ずしも付ける必要はないでしょう。

4. I **live** in **Osaka**.

「住んでいる」日本語になっているので、進行形にしてしまう人がたくさんいます。しかし、live は進行形にしなくてもこの意味を表すので、通常は現在形のままで十分です。

5. I go to Himaraya junior high school.

「学校に通う」という言い方が簡単に出てこないかもしれませんが、「学校に行っています」という意味ですから go to を使います。この場合にも進行形にはしないようにしましょう。また、「通う」を辞書で調べて attend とする人もいますが、わざわざ難しい単語を選ぶ必要もありません。

I am go to としてしまう人もいますが、**このように be 動詞と一般動詞を一緒に使うのは間違いである**ことを忘れないようにしてください。

6. There are five (people/members) in my family.

「私は5人家族です。」という場合です。

I am five families. や I have five families. My family is five などは間違いです。

別の言い方としては We are a family of five. が使えるでしょう。また、people や members は省略できます。

7. I like dogs.

自分の好きな動物や食べ物を言ってみましょう。ただし、like の後ろにくる**名詞は数えられるものは複数形にする**ことを忘れないでください。

8. But I don't like cats.

but を使っているので、7と関係するものを選ぶのが自然でしょう。have の代わりに keep を使うこともできますが、ペットの場合は have が普通でしょう。

9. I have a rabbit.

ここも日本語が「飼っている」となっているので、進行形にして I am having a dog. などとしがちですが、この場合の have は進行形にしてはいけません。進行形は

あくまでも、ある瞬間に「している」ことを表現するものです。

「飼っている」という意味で keep を使うこともありますが、これは「飼育している」という意味で使われることが多いでしょう。

I keep some chickens. (私は鶏を何羽か飼育しています。)

10. My dream **is to become**(be) **a pilot** in the future.

例文は「私の夢は将来パイロットになることです。」という意味です。「～になること」の部分が不定詞(to+動詞原形)になりますが、この場合、become は be 動詞の原形である be でもいいですね。

(to+動詞原形)の部分を忘れて My dream **is a pilot** in the future. とならないように気を付けましょう。

別の言い方としては I want to be a pilot in the future. とすることもあてしょう。

24 重要連語、熟語

よく使われる英語の連語、熟語

◆英語の勉強では単語を一つ一つそのまま覚えるよりも、連語としてまとめて覚えたほうが理解が早まることがありますし、非常に便利です。

また、連語になることで、もとの単語の意味とは少し違う訳し方になることもあるので注意が必要ですよ。

◆他のページに出てきたものは、その連語のみを記載しています。

a cup of～ 一杯の～

a glass of～ 一杯の～

a pair of～ 一對の～(2つで1つになったようなもの)

He has **ten pairs of shoes**.

彼はくつを10足持っています。

a piece of～ 1片の～

a lot of～ たくさんの～

after school 放課後

again and again 何度も

The animal comes here **again and again**.

その動物は何度もここへやってきます。

all day 一日中

I was sleeping **all day** yesterday.

私はきのう一日中寝ていました。

all around 一面に

as soon as～ ～するとすぐに

at first 最初は

The story was very interesting **at first**.
最初は、その話はとてもおもしろかった。

at last ついに、ようやく

We discovered the fall **at last**.
我々はついにその滝を発見した。

at the same time 同時に

You can't see those stars **at the same time**.
それらの星は同時に見ることはできません。

be は、be 動詞のことですから、主語や時制(過去や未来など)によって変化しますので注意しましょう。

be able to～ ～することができる = can

I **was able to** enter the building.
私はその建物に入ることができました。

be absent from～ ～を欠席する

He **was absent from** school.
彼はきのう学校を休んだ。

be afraid of～ ～をおそれる

Are you afraid of dogs?
あなたは犬がこわいのですか。

be different from～ ～とはちがう

American culture **is different from** ours.
アメリカの文化は私たちの文化とはちがう。

be fond of～ ～が好きである = like

She **is fond of** cats.
彼女は猫が好きです。

be full of～ ～でいっぱい

This garden will **be full of** flowers.
この庭は花でいっぱいになるだろう。

be good at～ ～が得意だ

I **am good at** taking pictures.
僕は写真を撮るのが得意です。

be sick in bed 病気で寝ている

My grandmother has **been sick in bed** since yesterday.
私のおばあちゃんは昨日から病気で寝ています。

be late for～ ～に遅れる

Don't **be late for** the meeting.
会議に遅れないようしなさい。

be pleased with～ ～を気に入る

We **are** really **pleased with** this house.
私たちは本当にこの家を気に入っています。

before long まもなく

The airplane will arrive here **before long**.
その飛行機はまもなくここに到着するでしょう。

belong to～ ～に属する

This forest **belongs to** everyone.
この森はみんなのもです。

between ～ and・・・ ～と・・・の間に

There is a little river **between** the park **and** my house.
その公園と私の家の間に小さな川があります。

both ～ and・・・ ～も・・・も両方

Both he **and** I agree with your idea.
彼も私もあなたの考えに賛成です。

by the way ところで

By the way, where did you buy the coat?

ところで、あなたはどこでそのコートを買ったのですか。

come up to～ ～に近づく

A man **came up to** me then.

その時、一人の男の人が私に近づいてきました。

day after day 来る日も来る日も

We were waiting for him **day after day**.

来る日も来る日私たちは彼を待っていました。

do one's best ベストを尽くす

one's は誰々のという意味でここには my, his, her, Nancy's 等の所有格を表す単語が入ります。

I will **do my best**.

私はベストを尽くすつもりです。

each other お互いに = one another

今では、この2つはほとんど同じ要領で使われているようです。

We must help **each other (one another)**.

私たちはお互いに助け合わなければなりません。

～enough to・・・・・・するのは十分な～

Mike is old **enough to** go abroad alone.

マイクは一人で海外に行くには十分な年齢だ。

find out 探し出す、気がつく

I **found out** my mistake.

私は自分の間違いに気付いた。

for a long time 長い間

It was raining **for a long time**.

長い間雨が降っていた。

for a while しばらくの間

Please wait here **for a while**.

しばらくの間ここで待っていてください。

for example 例えば

For example, it looks like an lamp.

例えば、それはランプのように見えます。

for the first time 初めて

I touched the stone **for the first time**.

私は初めてその石にさわった。

get on～ ～に乗る(タクシーなど小さな乗り物の中に入る場合は **get in** を使います)

Get on a train at Akune station.

阿久根駅で列車に乗りなさい。

get off～ ～を降りる

Where did you **get off** the bus?

あなたはどこでバスから降りたのですか。

get to～ ～に着く = arrive

They will **get to** this airport soon.

彼らはまもなくこの空港に着くでしょう。

give up あきらめる

Never **give up**.

絶対にあきらめるな。

go away 立ち去る

She **went away** without saying anything.

彼女は何も言わずに立ち去った。

go for a walk 散歩に行く

My father often **goes for a walk**.

私の父はよく散歩に出かける。

go on a trip 旅行に行く

We enjoyed **going on a trip** last week.

私たちは先週旅行に行って楽しんだ。

had better～ ～したほうが良い

had があっても過去形ではありません。

You **had better** finish your homework soon.

君はすぐに宿題をすませたほうがいいよ。

hear from～ ～から便りがある

Have you **heard from** him?

彼からは便りがありましたか。

here and there あちこちに

There were many people **here and there**.

あちこちにたくさんの方がいました。

in front of～ ～の前に

Nancy met him **in front of** the building.

in those days その頃

I was keeping a big snake in those days.

そのころ私は大きな蛇を飼っていた。

in time for～ ～に間にあって

Was he **in time for** the party?

彼はパーティーに間に合いましたか。

look after～ ～を世話する = take care of～

使い方に違いはありますが、初学習としては、この2つもほぼ同じ意味と考えてよいでしょう。

You have to **look after** your parents.

あなたは親の面倒を見なければいけませんよ。

Tom, **take care of** the dog.

トム、犬の世話をしなさい。

look forward to～ ～を楽しみにする

I was **looking forward to** talking to the baseball player.
僕はその野球選手と話をするのを楽しみにしていました。

make a mistake 間違いをする

He sometimes **makes a mistake** in math.
彼は数学でたまに間違いをする。

make friends with～ ～と友達になる

Mary wants to **make friends with** that boy.
メアリーはあの男の子と友達になりたいと思っている。

make up one's mind 決心する

I **made up my mind** to forget her.
私は彼女のことを忘れる決心をした。

most of～ ～のほとんど

Most of them were gold.
それらのほとんどが金でした。

next to～ ～のとなりに

Mr. Brown lives **next to** my house.
ブラウンさんは私の家のとなりに住んでいます。

not ～ at all 少しも～ない

The story **wasn't** interesting **at all**.
その話はぜんぜんおもしろくなかった。

not only ～ but (also)・・・ ～だけでなく・・・もまた

She knows **not only** Ken **but (also)** Tom well.
彼女はケンばかりでなくトムもよく知っている。

on one's way home 家へ帰る途中で

It began to snow **on my way home**.
私が家に帰る途中で雪が降り始めました。

on one's way to～ ～への途中で

He saw a small rabbit **on his way to** school.

彼は学校へ行く途中で小さなウサギを見ました。

once again もう一度 = once more

Would you say it **once again**, please?

もう一度言っていただけませんか。

one after another 次々に

He drank orange juice **one after another**.

彼は次から次へとオレンジジュースを飲んだ。

plenty of～ たくさんの～ = a lot of

There are **plenty of** cards on the table.

テーブルにはたくさんのカードがあります。

put on 身につける

Put on a coat. It is very cold outside

コートを着なさい。外はとても寒いよ。

put out 消す

Shall I **put out** fire?

火を消しましょうか。

right now 今すぐ = at once

Please start **right now**.

今すぐに始めて下さい。

run after～ ～を追いかける

A cat is **running after** a mouse.

猫がねずみを追いかけている。

run away 逃げる

The mouse is **running away** from the cat.

そのねずみはその猫から逃げようとしている。

some day いつか

I'd like to visit your country **someday**.

いつか君の国に行きたいなあ。

such as～ ～のような

I want to keep some animals **such as** pandas and koalas.

私はパンダやコアラのような動物を飼いたい。

take a trip 旅行をする

Are you going to **take a trip** next month?

来月、旅行に出かけるつもりですか。

take off 脱ぐ、離陸する ⇔ put on

次の文では**離陸する**という意味にならないのは分かりますよね。

Please **take off** your shoes in the house.

家の中では靴を脱いでください。

take part in～ (催物や大会など)～に参加する

Would you like to **take part in** the party too?

あなたもそのパーティーに参加したいですか。

turn on～ ～をつける

Will you **turn on** the TV?

テレビをつけてくれませんか。

turn off～ ～を消す

Don't **turn off** the light.

明かりを消さないでね。

～years old ～歳

★これらの連語の中には全く別の意味を持つものもありますが、基本的な使い方としては、ここで紹介した程度で覚えておけば良いでしょう。また、それぞれの例文を**最低10回以上**は声に出して読んでみましょう。